



観光地のオーバーツーリズムおよび 分散・平準化対策に関する現状調査 報告レポート

2024年11月18日 作成

株式会社リクルート ジャらんリサーチセンター
研究員 長野 瑞樹

調査名	「観光地のオーバーツーリズムおよび分散・平準化対策に関する現状調査」
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連業務従事者等を対象に、日常生活圏または業務・事業で関わるエリアの混雑状況や混雑による影響度、具体的に発生している問題点について明らかにする。 各地のオーバーツーリズム対策や、分散・平準化対策について、実施状況や実施意向、対策内容、推進上の課題点について明らかにする。
調査方法	JKN会員*に向けたインターネット調査 (JKN会員にメールでアンケートを依頼し、専用のweb画面で回答していただく形式)
調査期間	2024年8月28日（水）～10月4日（金）

調査対象者	JKN会員（割付回収なし） 回答者の所属先別の人数は右の通り		(人)	(%)
		行政・計	390	40.8
		都道府県庁	76	7.9
		市区町村	159	16.6
		観光協会・DMO	107	11.2
		その他	48	5.0
		民間企業・計	319	33.4
		宿泊施設・計	151	15.8
		その他	96	10.0
		合計	956	100.0

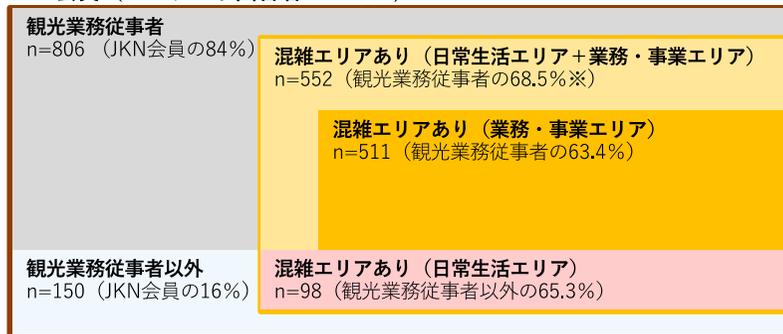
*JKN会員とは、『じゃらんリサーチセンター』が保有するメールマガジン会員データベースで、観光行政（自治体、観光協会、DMO等）や観光関連事業者（宿泊、交通、IT等）が登録

- ◆ 「日常生活エリア」「業務・事業エリア」それぞれの混雑状況、混雑による影響（良い影響or悪い影響）は？
⇒ 観光業務従事者以外の方は、「日常生活エリア」のみが対象
- ◆ 混雑によって起きている問題は？
⇒ 「混雑エリアあり」の方のみに確認（「日常生活エリア」「業務・事業エリア」を分けずに確認）
- ◆ オーバーツーリズム対策、分散・地方誘客に対する意識や実施状況は？
⇒ 全対象者に確認

調査・分析 の視点

- ※（必要に応じて）属性別比較をしている。主な属性別比較は以下の通り
- ・ 所属先別（行政、民間企業、宿泊施設）
 - ・ 混雑エリア別（北海道・東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州・沖縄）

JKN会員（アンケート回答者 n=956）



報告書の 注意点

※「混雑エリアあり」の定義：設問文「コロナ前（2019年）と比較して、自地域での旅行者の増加による混雑度はどの程度ですか」に対し、「混雑している場所やスポットがある」「やや混雑している場所やスポットがある」と回答した人。

※図表内の%の値は小数第2位を四捨五入しているため、差分や合計値において、単純計算した数値と合致しない場合がある。

サマリー

▶ (コロナ前に比べて) 「混雑している・計 (混雑エリアあり)」 は、日常生活エリア、業務・事業エリアそれぞれ6割程度

- 日常生活エリアが「混雑している・計」60%
- 業務・事業エリアが「混雑している・計」63%

▶ 混雑による影響は、日常生活エリアは「悪い影響」、業務・事業エリアは「良い影響」が優勢

- 日常生活エリアは、「良い影響が出ている・計」は52%、「悪い影響が出ている・計」(60%)を8pt下回る
- 業務・事業エリアは、「良い影響が出ている・計」が76%、「悪い影響が出ている・計」(60%)を16pt上回る
- 両エリアとも「悪い影響・計」は6割

★所属先別：「宿泊施設」は良い影響が優勢

★混雑エリア別：「関西」「九州・沖縄」では悪い影響の度合いが強い(7割程度)。「北海道・東北」は日常生活エリアでも良い影響が優勢

⇒業務や事業よりも、日常生活で観光の「良い影響」を感じにくい。地域住民の気持ちをくみ取り、対応(混雑対策、インバウンドによるメリットを感じてもらい取り組み)していくことが必要。

▶ 混雑による影響は、「生活圏の雰囲気が変わった」「マナーが悪い旅行者がいる」が5割以上

- 「物価や飲食店の価格などが急激に上昇した」も5割近い
- 「普段使うバスや電車に乗車できない、お店に入れない」「立ち入り禁止場所へ侵入する人がいる、無断で写真撮影する人がいる」が4割強

★所属先別：「行政」は「民間企業」「宿泊施設」ほど悪影響を感じていない

★混雑エリア別：「関西」「九州・沖縄」は悪影響を感じる場面が多い様子

⇒「民間企業」や「宿泊施設」は、自地域へ及ぼす悪影響は「行政」よりも敏感に感じ取り、将来的な部分も含め危機感が高いと思われる。「行政」は民間と同じ目線で、混雑による悪影響を感じ取り、感覚を共有していくことが必要。

▶ オーバーツーリズム対策の有無について、「ある」17%、「ない」51%、「分からない」33%

★混雑度別：「混雑エリアあり」では、「ある」が34%

★所属先別：「行政」は対策が「ある」が4割弱。「民間企業」「宿泊施設」は「分からない」が4割以上を占める

★混雑エリア別：「関西」「中国・四国」では「ある」が他地域より高め

▶ オーバーツーリズム対策で必要なことは、“旅行者へのマナー啓発”や“公共交通の整備”が上位

– 「インバウンドへのマナー啓発」55%、「旅行者へのマナー啓発」51%が上位

– 「公共交通の輸送力増強」「公共交通の混雑緩和」「運賃・料金の柔軟な設定」も混雑エリアでは5割以上

– 最も必要な対策 (SA)では、「インバウンドへのマナー啓発」12%、「観光メリットの住民への説明」10%が上位

★所属先別：「行政」は「観光メリットの住民への説明」「住民・事業者などの地域関係者同士の話し合い」などの“住民との連携”、「民間企業」「宿泊施設」では「インバウンドへのマナー啓発」「マナー違反行為の抑制」などの旅行者向けの対策を必要と感じる傾向

★混雑エリア別：どのエリアにおいても「インバウンドへのマナー啓発」は優先度が高い

⇒業務範囲が異なるので、当然ながら対策意識も異なる（「行政」は対住民、「民間企業」「宿泊施設」は対顧客）が、それぞれの問題意識や役割を整理した上で、互いに連携・協力して対策を進める必要がある。

▶ オーバーツーリズム対策で実施が難しいことは、“ハード・仕組みの整備”が上位

– 「公共交通の輸送力増強」18%、「受入環境の充実」13%が上位

★所属先別：「行政」は「公共交通の輸送力増強」「受入環境の充実」、「民間企業」は「インバウンドへのマナー啓発」が高い傾向

★混雑エリア別：どのエリアにおいても「公共交通の輸送力増強」は実施障壁が高い

⇒「公共交通の輸送力増強」に代表されるハード環境の整備の実施障壁が高い一方、「マナー啓発」は必要度が高く、実施障壁は低め。実施障壁が低い対策を優先的に進めつつ、実施障壁が高い対策は早めに準備を進めることも大事になる。実施障壁が高いハード環境の整備は、国も巻き込んだ実証事例の創出が必要か。

分散対策と地方誘客 (1/2)

▶ 混雑の「時間的な偏りがある・計」「地域的な偏りがある・計」はいずれも8割強

- 時間的な偏りは、「混雑が集中する時間帯がある」44%、「平日・休日の繁閑差が大きい」31%、「シーズンによる繁閑差が大きい」47%
- 地域的な偏りは、「域内スポットの一極集中が起きている」38%、「県内の地域間での繁閑差が大きい」43%、「広域エリア間での繁閑差が大きい」25%

★混雑度別：「混雑エリアあり」では混雑の集中が起きている

（「混雑が集中する時間帯がある」「域内スポットの一極集中が起きている」いずれも約6割）

★混雑エリア別：「九州・沖縄」では「混雑が集中する時間帯がある」が高い。「中国・四国」「関西」では「域内スポットの一極集中が起きている」が高い

⇒「関西」「九州・沖縄」では“混雑の集中”が多く起る傾向があり、混雑解消のための対策に加え、分散・誘客のための新たなコンテンツ開発過程においても、「新たな“混雑の集中”が起きない」ことを念頭においた設計が大切。

▶ 分散・誘客の「対策がされている・計」は2割強、「対策されていない」は5割弱 「分からない」が3割弱

- 「対策がされている・計」23%のうち、「状況の改善が見込める」のは4%にとどまる

★混雑度別：「混雑エリアあり」では「対策がされている・計」が4割弱。そのうち「状況の改善が見込める」は5%

★所属先別：「対策がされている・計」は「行政」が約4割。「民間企業」「宿泊施設」は25%程度で、「分からない」が3割程度と多い

★混雑エリア別：「関西」「九州・沖縄」は「対策がされている・計」が高め

⇒「行政」と「民間企業」「宿泊施設」横の連携を図り、地域一体となった対応をすることが、より効果的な分散・誘客対策につながる。

また、「関西」「九州・沖縄」では分散・誘客対策が他エリアより進んでいるものの、具体的な成果につながるのはいまだに、という段階と考えられる。

分散対策と地方誘客 (2/2)

▶実施している分散・誘客対策では、“観光コンテンツ”に関する対策が多い

- 「モデルルート・コースの提示」「旅行者向けの魅力的なコンテンツ造成」「多言語の情報ツールの整備」が4割以上
- 一方、「住民向け説明会などの実施」は3%、「混雑、非混雑地域間の連携」は11%と低調

★所属先別：「行政」は「旅行者向けの魅力的なコンテンツ造成」「モデルルート・コースの提示」、「民間企業」は予約・決済に関する対策が進む傾向

★混雑エリア別：「関東」「関西」で対策がなされる傾向

⇒“観光コンテンツ”に関する対策や“情報ツール整備”は比較的实施しやすい対策である一方、他との連携（住民、他エリアなど）が必要な対策は、実施率が低い。オーバーツーリズム対策と同様、実施障壁が低い対策を優先的に進めつつ、実施障壁が高い対策は早めに準備を進めることが大事になる。

▶分散・誘客対策が進まないのは、“人材・人手不足”“エリア間連携・役割分担の難しさ”

- 「人材（スキル・専門性）が不足している」「人手（労働力）が不足している」「エリア間の連携・役割分担が難しい」が4割程度

★所属先別：「行政」は“人手・資金不足”、「民間企業」は“エリア間の連携”、「宿泊施設」は“人材・人手不足”が多い傾向

★混雑エリア別：「北海道・東北」「関東」では「人手（労働力）が不足している」「エリア間の連携・役割分担が難しい」が5割前後と高い

⇒「エリア間の連携・役割分担が難しい」は、役割分担が明確でないがために起きる問題。また事業資金の出所問題も絡む。資金確保のための道筋（旅行者からの観光税、入場料値上げなども含む）を明確にしておくことが必要。

1. 回答者の基本属性

①性別

- ▶ 「男性」が75%
- ▶ 「行政」は「女性」の割合がやや高め（3割弱）

Q1 あなたの性別をお知らせください。（単一回答） 【回答者条件：全員】

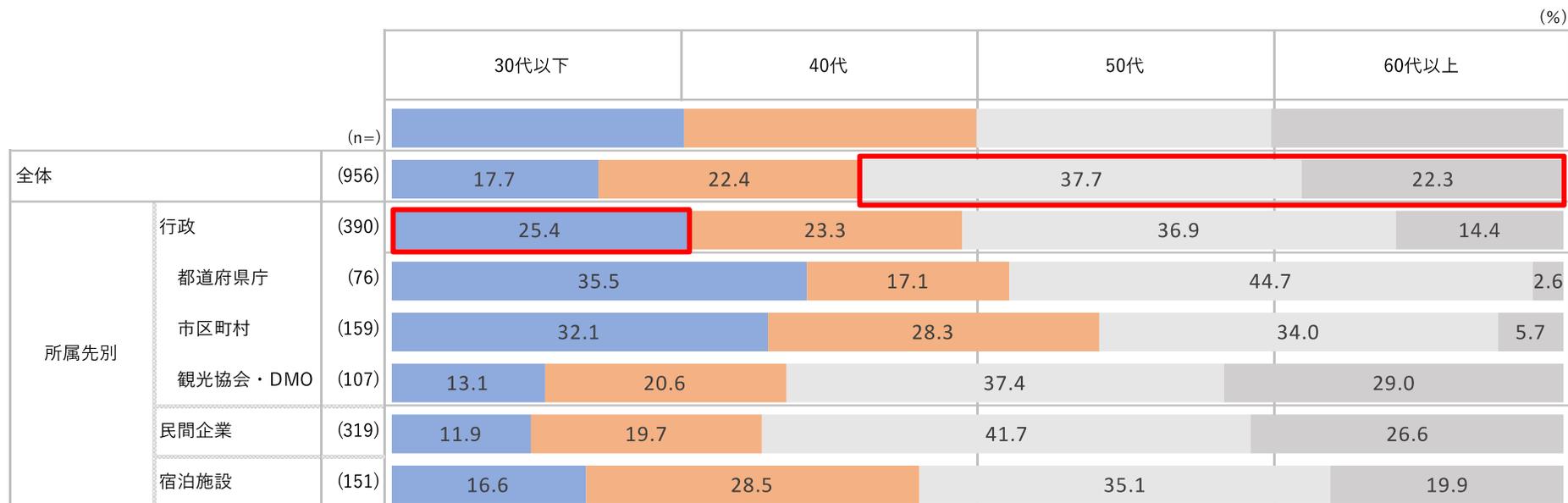


※「その他」を除く

②年代

- ▶ 「50代」以上が6割
- ▶ 「行政」では「30代以下」の割合が高め

Q2 あなたの年齢をお知らせください。 (実数回答) 【回答者条件：全員】

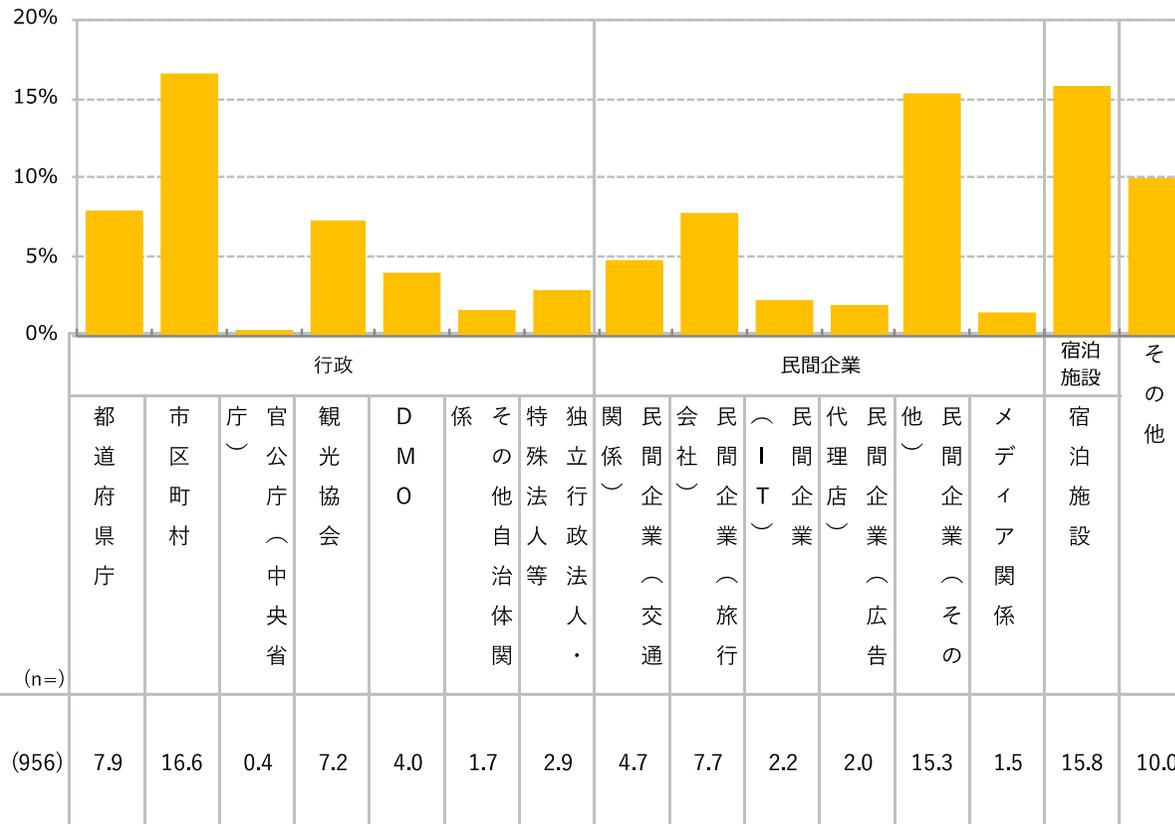


※「その他」を除く

③所属先

▶ 「行政・計」が約4割、「民間企業・計」が3割強

Q3 あなたの所属先をお知らせください。（単一回答） 【回答者条件：全員】



行政・計	民間企業・計	宿泊施設・計
40.8	33.4	15.8

2. 旅行者の増加による混雑状況と問題点

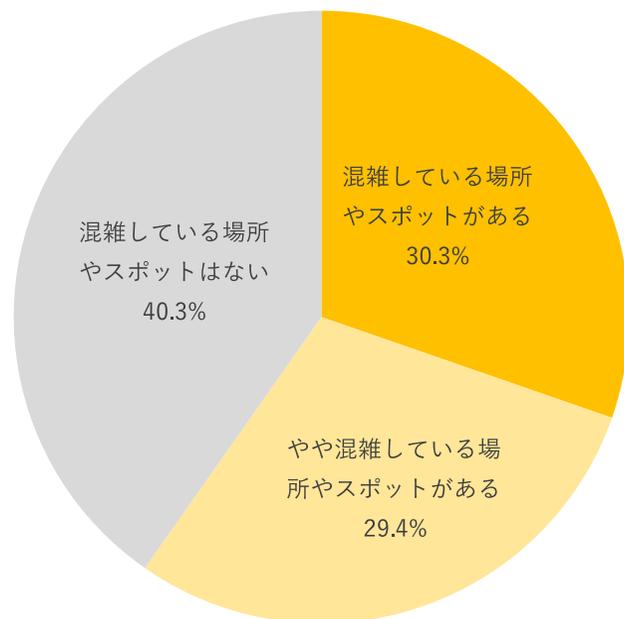
①混雑度

- ▶日常生活エリアは、「混雑している・計」が60%
- 「混雑している」30%、「やや混雑している」29%

Q5 コロナ前（2019年）と比較して、自地域での旅行者の増加による混雑度はどの程度ですか。

（単一回答） 【回答者条件：全員】

①「日常生活を送るエリア」 n=956



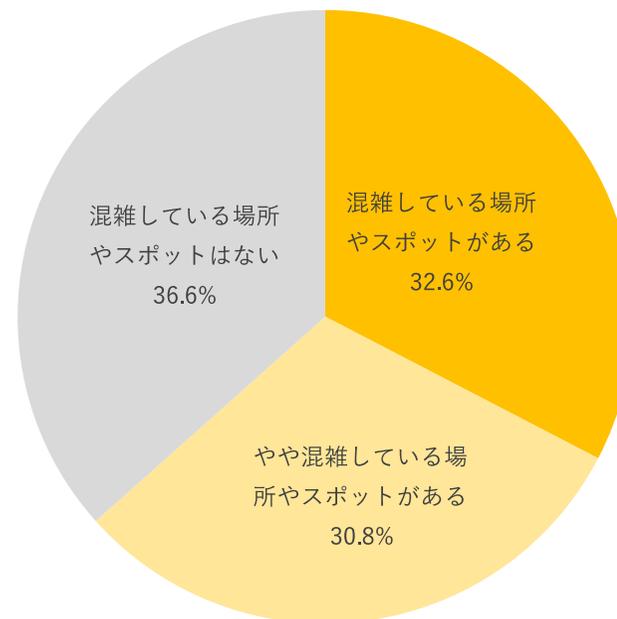
混雑している・計：59.7%

- ▶業務・事業エリアは、「混雑している・計」が63%
- 「混雑している」33%、「やや混雑している」31%

Q5 コロナ前（2019年）と比較して、自地域での旅行者の増加による混雑度はどの程度ですか。

（単一回答） 【回答者条件：観光業務従事者】

②「業務・事業に関わるエリア」 n=806



混雑している・計：63.4%

①混雑度：業務別・所属先別

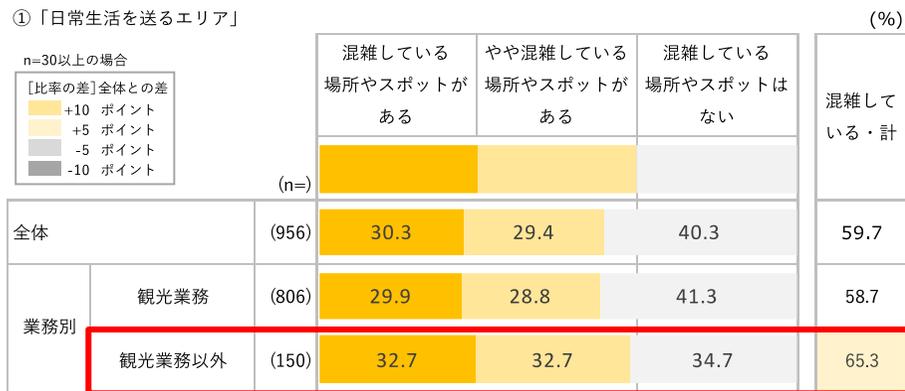
▶業務別に日常生活エリアの混雑度を比較すると、「観光業務以外」の方が「混雑している・計」（65%）が高い

▶所属先別に業務・事業エリアの混雑度を比較すると、「民間企業」で「混雑している・計」が、77%と高い

Q5 コロナ前（2019年）と比較して、自地域での旅行者の増加による混雑度はどの程度ですか。

（単一回答） 【回答者条件：全員】

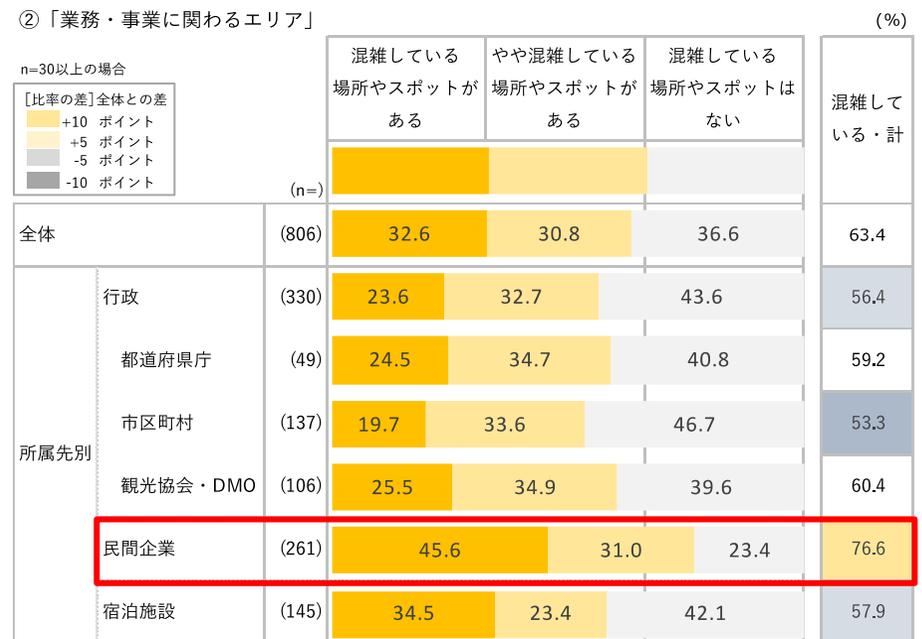
①「日常生活を送るエリア」



Q5 コロナ前（2019年）と比較して、自地域での旅行者の増加による混雑度はどの程度ですか。

（単一回答） 【回答者条件：観光業務従事者】

②「業務・事業に関わるエリア」



※「その他」を除く

②混雑エリア

- ▶日常生活エリアは、「東京都」17%が突出
- この他、「神奈川県」「大阪府」「長野県」が上位にあがる

- ▶業務・事業エリアは、「東京都」17%が突出
- この他、「長野県」「大阪府」「福岡県」が上位にあがる

Q6 混雑しているエリアについて伺います。そのエリアがある都道府県名を選択してください。 Q6 混雑しているエリアについて伺います。そのエリアがある都道府県名を選択してください。
(単一回答) 【回答者条件：日常生活エリアに混雑エリアがある人】 (単一回答) 【回答者条件：観光業務従事者&業務エリアに混雑エリアがある人】

①「日常生活を送るエリア」 n=571

北海道・東北	北海道	3.2	11.4	近畿	三重県	1.1	17.2
	青森県	1.6			滋賀県	1.4	
	岩手県	1.1			京都府	4.6	
	宮城県	1.9			大阪府	6.3	
	秋田県	1.2			兵庫県	2.6	
	山形県	0.9			奈良県	0.7	
	福島県	1.6			和歌山県	0.5	
	茨城県	0.9			鳥取県	0.4	
関東	栃木県	1.4	31.7	中国・四国	島根県	0.2	7.7
	群馬県	0.5			岡山県	0.7	
	埼玉県	1.6			広島県	3.5	
	千葉県	2.6			山口県	0.2	
	東京都	17.2			徳島県	0.5	
	神奈川県	7.5			香川県	0.7	
	新潟県	0.5			愛媛県	0.2	
	富山県	0.7			高知県	1.4	
中部	石川県	2.3	18.0	九州・沖縄	福岡県	4.7	14.0 (%)
	福井県	0.4			佐賀県	0.5	
	山梨県	0.9			長崎県	1.6	
	長野県	5.1			熊本県	1.8	
	岐阜県	1.6			大分県	0.4	
	静岡県	2.6			宮崎県	0.2	
	愛知県	4.0			鹿児島県	1.1	
					沖縄県	3.9	

②「業務・事業に関わるエリア」 n=511

北海道・東北	北海道	3.5	12.7	近畿	三重県	0.8	16.6
	青森県	1.6			滋賀県	2.0	
	岩手県	1.0			京都府	4.9	
	宮城県	1.8			大阪府	5.5	
	秋田県	2.0			兵庫県	1.8	
	山形県	1.8			奈良県	0.8	
	福島県	1.2			和歌山県	1.0	
	茨城県	0.8			鳥取県	0.4	
関東	栃木県	1.8	27.4	中国・四国	島根県	0.4	9.4
	群馬県	0.6			岡山県	0.4	
	埼玉県	1.0			広島県	3.9	
	千葉県	2.0			山口県	0.2	
	東京都	17.2			徳島県	0.8	
	神奈川県	4.1			香川県	1.0	
	新潟県	0.4			愛媛県	1.0	
	富山県	0.6			高知県	1.4	
中部	石川県	1.6	17.6	九州・沖縄	福岡県	5.1	16.2 (%)
	福井県	0.2			佐賀県	1.0	
	山梨県	0.8			長崎県	1.8	
	長野県	6.5			熊本県	1.8	
	岐阜県	1.8			大分県	0.6	
	静岡県	2.9			宮崎県	0.4	
	愛知県	2.9			鹿児島県	0.8	
					沖縄県	4.9	

※スコアを見る際の注意点：スコアは「混雑エリアの回答者」における各都道府県の割合を示しています。「各都道府県の回答者」における混雑度の高低を示すものではない点をご留意ください。

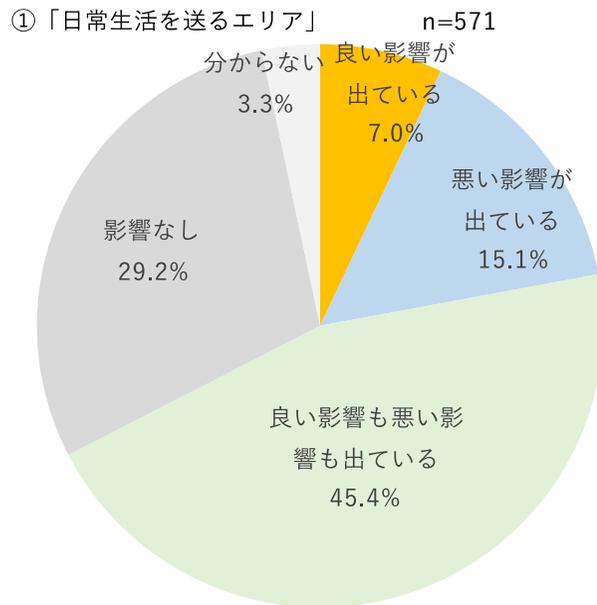
④混雑による影響

▶日常生活エリアは、「悪い影響」が優勢

- 「良い影響が出ている・計」は52%、「悪い影響が出ている・計」(60%)を8pt下回る

Q8 旅行者の増加による混雑によってどのような影響が出ていますか。(単一回答)

【回答者条件：日常生活エリアに混雑エリアがある人】



良い影響が出ている・計：52.4%

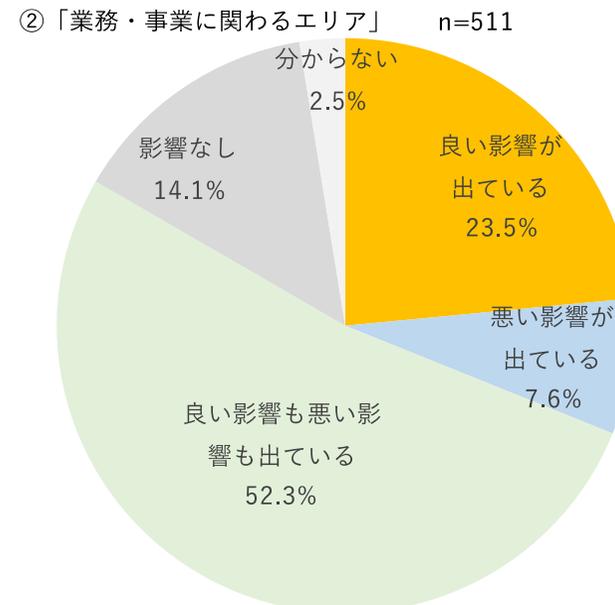
悪い影響が出ている・計：60.4%

▶業務・事業エリアは、「良い影響」が優勢

- 「良い影響が出ている・計」が76%、「悪い影響が出ている・計」(60%)を16pt上回る

Q8 旅行者の増加による混雑によってどのような影響が出ていますか。(単一回答)

【回答者条件：観光業務従事者&業務エリアに混雑エリアがある人】



良い影響が出ている・計：75.7%

悪い影響が出ている・計：59.9%

④混雑による影響：業種別・所属先別

- ▶ 「観光業務以外」では、「悪い影響」の優勢傾向が強い
 - 「観光業務以外」では「良い影響・計」が5割を切る

- ▶ 「宿泊施設」では、「良い影響」の優勢傾向が特に強い
 - 「宿泊施設」では「良い影響が出ている」36%の高さが目立つ
 - 「観光協会・DMO」では、「良い影響・計」が8割以上と高いものの、「悪い影響・計」も7割弱と高い

Q8 旅行者の増加による混雑によってどのような影響が出ていますか。(単一回答)

【回答者条件：日常生活エリアに混雑エリアがある人】

①「日常生活を送るエリア」

n=30以上の場合		[比率の差全体との差]									差分(pt) (良い-悪い)
		良い影響が出ている	悪い影響が出ている	良い影響も悪い影響も出ている	影響なし	分からない	良い影響・計	悪い影響・計			
全体	(571)	7.0	15.1	45.4	29.2	3.3	52.4	60.4	-8.1		
業 務 別											
観光業務	(473)	7.0	14.2	46.9	29.4	2.5	53.9	61.1	-7.2		
観光業務以外	(98)	7.1	19.4	37.8	28.6	7.1	44.9	57.1	-12.2		

Q8 旅行者の増加による混雑によってどのような影響が出ていますか。(単一回答)

【回答者条件：観光業務従事者&業務エリアに混雑エリアがある人】

②「業務・事業に関わるエリア」

n=30以上の場合		[比率の差全体との差]									差分(pt) (良い-悪い)
		良い影響が出ている	悪い影響が出ている	良い影響も悪い影響も出ている	影響なし	分からない	良い影響・計	悪い影響・計			
全体	(511)	23.5	7.6	52.3	14.1	2.5	75.7	59.9	15.9		
※ 業 務 別											
行政	(186)	21.0	5.9	58.6	11.8	2.7	79.6	64.5	15.1		
都道府県庁	(29)	20.7		65.5	10.3	3.4	86.2	65.5	20.7		
市区町村	(73)	19.2	9.6	50.7	17.8	2.7	69.9	60.3	9.6		
観光協会・DMO	(64)	20.3	6.3	62.5	7.8	3.1	82.8	68.8	14.1		
民間企業	(200)	20.0	10.0	51.5	16.0	2.5	71.5	61.5	10.0		
宿泊施設	(84)	35.7	4.8	48.8	10.7		84.5	53.6	31.0		

※n=30未満は参考値

※「その他」を除く

④混雑による影響：混雑エリア別

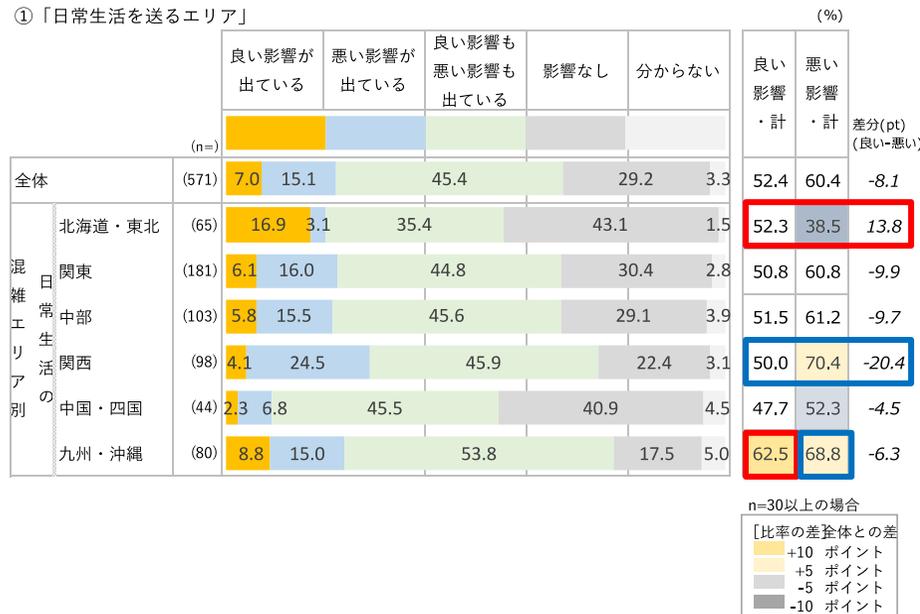
▶日常生活エリアは、「北海道・東北」以外は「悪い影響」が優勢

- 「関西」では「悪い影響・計」が7割を超える
- 「九州・沖縄」も「悪い影響・計」が7割近いが、「良い影響・計」が6割超で他エリアより高い
- 「北海道・東北」のみ「良い影響・計」が「悪い影響・計」を上回る

Q8 旅行者の増加による混雑によってどのような影響が出ていますか。(単一回答)

【回答者条件：日常生活エリアに混雑エリアがある人】

①「日常生活を送るエリア」



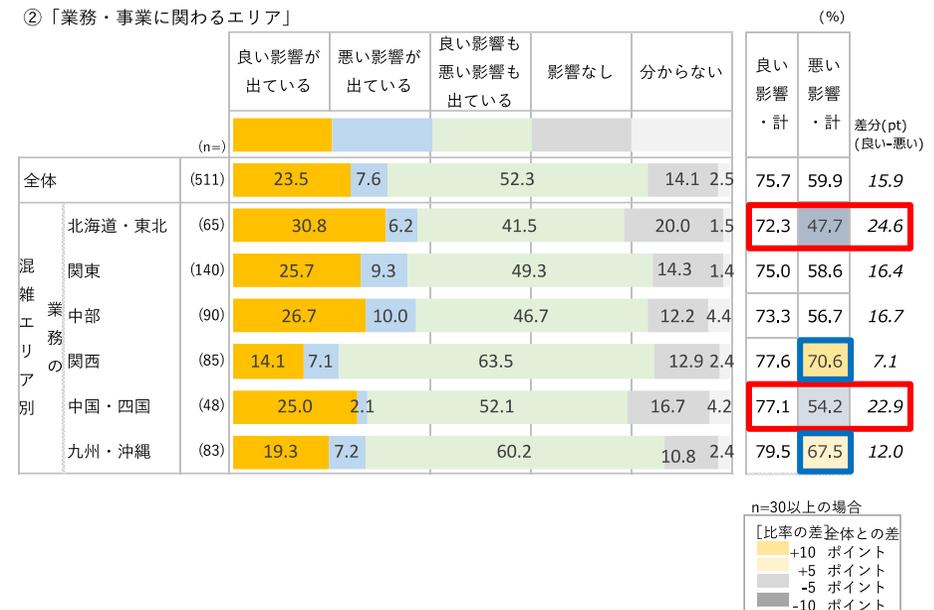
▶業務・事業エリアは、全エリアで「良い影響」が優勢

- どのエリアも「良い影響・計」は7割台
- 一方、「悪い影響・計」は「関西」「九州・沖縄」が7割前後と高い
- 「悪い影響・計」のスコアが低い「北海道・東北」「中国・四国」で特に「良い影響」が優勢

Q8 旅行者の増加による混雑によってどのような影響が出ていますか。(単一回答)

【回答者条件：観光業務従事者&業務エリアに混雑エリアがある人】

②「業務・事業に関わるエリア」



⑤混雑による問題

- ▶ 自地域（日常生活エリア、業務・事業エリア）の混雑による影響は、「生活圏の雰囲気が変わった」「マナーが悪い旅行者がいる」が5割以上
 - 「物価や飲食店の価格などが急激に上昇した」も5割近い
 - 「普段使うバスや電車に乗車できない、お店に入れない」「立ち入り禁止場所へ侵入する人がいる、無断で写真撮影する人がいる」が4割強

Q9 混雑が発生しているエリアについて、以下の事項はどの程度あてはまりますか。（単一回答） 【回答者条件：自地域内に混雑エリアがある人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

								(%)
			あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる・計
		(n=)						
不安	旅行者の増加によって、生活圏の雰囲気が変わった	(650)	19.5	38.0	17.5	16.6	8.3	57.5
	看板、飲食店のメニューなどで外国語表記を見ることが増え、落ち着かない	(650)	4.2	11.1	20.0	26.5	38.3	15.2
	安価なホテルや特定の業態の店舗が急激に増えた	(650)	7.2	20.5	21.7	23.7	26.9	27.7
不快	旅行者の増加に合わせて物価や飲食店の価格などが急激に上昇した	(650)	14.5	34.8	21.7	18.8	10.3	49.2
	マナーが悪い（割り込み、路上飲酒、ポイ捨てなど）旅行者がいる	(650)	22.5	29.7	20.2	19.1	8.6	52.2
	立ち入り禁止場所へ侵入する人がいる、無断で写真撮影する人がいる	(650)	15.5	25.7	21.8	22.3	14.6	41.2
不利益	旅行者で混雑して、普段使うバスや電車に乗車できない、お店に入れない	(650)	13.4	29.2	15.8	20.9	20.6	42.6
	食べ歩きで店内・施設内に入り、展示商品やほかの人の洋服などが汚れる	(650)	3.2	11.2	22.3	28.8	34.5	14.5
	建造物・文化財などの破損・落書きがある	(650)	4.8	11.2	22.2	25.2	36.6	16.0
	自然環境が悪化していると感じる	(650)	8.6	15.1	24.3	23.7	28.3	23.7

⑤混雑による問題（あてはまる・計）

- ▶所属先別でみると、「民間企業」「宿泊施設」で悪影響を感じている割合が高い傾向
 - 「民間企業」「宿泊施設」では「物価や飲食店の価格などが急激に上昇」が6~7割に対し、「行政」は3割強にとどまる

Q9 混雑が発生しているエリアについて、以下の事項はどの程度あてはまりますか。（単一回答） 【回答者条件：自地域内に混雑エリアがある人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

※スコアは「あてはまる+ややあてはまる」（%）

		不安			不快			不利益				
		活 旅 園 行 の 者 霧 の 困 増 気 加 が に 変 よ わ つ っ て た、 生	が ど 看 増 で 板 え 外、 、 国 飲 落 語 食 ち 表 店 着 記 の か を メ な 見 ニ い る ユ こ ー と な	の 安 店 価 舗 な が ホ 急 テ 激 ル に や 増 特 え 定 た の 業 態	激 価 旅 に や 行 上 飲 者 昇 食 の し 店 増 た の 加 価 に 格 合 な わ ど せ が て 急 物	旅 路 マ 行 上 ナ 者 飲 ー が 酒 が い、悪 る ポ い イ（ 捨 割 て り な 込 ど み ）、	影 る 立 す 人 ち る が 入 人 い り が 禁 い、止 る 無 場 断 所 で へ 写 侵 真 入 撮 す	い う 旅 、 バ 行 お ス 者 店 や で に 電 混 入 車 雑 れ に し な 乗 て い 車、 で 普 き 段 な 使	の 入 食 洋 り べ 服、歩 な 展 き ど 示 で が 商 店 汚 品 内 れ や・ る ほ 施 か 設 の 内 人 に	損 建 ・ 造 落 物 書・ き 文 が 化 あ 財 る な ど の 破	感 自 じ 然 る 環 境 が 悪 化 し て い る と	
全体	(650)	57.5	15.2	27.7	49.2	52.2	41.2	42.6	14.5	16.0	23.7	
観光業務従事者	(552)	56.3	15.0	27.9	49.6	52.7	42.6	43.1	13.8	14.9	22.8	
業務エリア 混雑度別	混雑エリアあり	(263)	68.1	19.0	36.9	59.7	63.9	49.8	55.5	17.9	18.6	29.7
	やや混雑エリアあり	(248)	48.0	11.3	19.4	42.3	41.5	35.9	31.9	9.3	12.1	16.1
	混雑エリアなし	(41)	31.7	12.2	22.0	29.3	48.8	36.6	31.7	14.6	7.3	19.5
所属先別 ※業務エリ アに混雑エ リアがある 人	行政	(186)	46.2	9.1	18.3	32.8	44.6	41.9	37.6	8.1	9.7	16.7
	都道府県庁	(29)	51.7	20.7	20.7	44.8	58.6	48.3	37.9	3.4	6.9	20.7
	市区町村	(73)	39.7	5.5	17.8	28.8	41.1	41.1	26.0	6.8	6.8	13.7
	観光協会・DMO	(64)	46.9	6.3	14.1	29.7	40.6	42.2	45.3	7.8	12.5	21.9
	民間企業	(200)	65.5	19.5	31.5	64.0	60.5	43.0	52.0	16.5	19.0	26.5
宿泊施設	(84)	63.1	19.0	44.0	71.4	56.0	45.2	46.4	15.5	17.9	27.4	

n=30以上の場合

[比率の差] 全体との差

- +10 ポイント
- +5 ポイント
- 5 ポイント
- 10 ポイント

※n=30未満は参考値 ※所属先別は「その他」を除く

⑤混雑による問題（あてはまる・計）：混雑エリア別

▶ エリア別でみると、「関西」「九州・沖縄」で悪影響を感じている割合が高い傾向

- 「関西」「九州・沖縄」では全般的にスコアが高い
- 「関東」では「物価や飲食店の価格などが急激に上昇」のスコアが高い

Q9 混雑が発生しているエリアについて、以下の事項はどの程度あてはまりますか。（単一回答） 【回答者条件：自地域内に混雑エリアがある人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

※スコアは「あてはまる+ややあてはまる」（%）

		不安			不快			不利益				
		活旅 の者 の増 気加 がに 変よ わっ って た、 生	がど 増で え外 、国 落語 ち表 着記 かを な見 いる こ と	の安 店価 舗な がホ 急テ ル にや 増特 え定 たの 業 態	激価 にや 上飲 昇食 し店 たの 価に 格合 なわ どせ がて 急物	旅路 行上 者飲 が酒 い、 るポ イ（ 捨割 てり な込 どみ ）、	影る す人 るが 人が が る 無 断 写 真 撮す	いう 、バ おス 店や に電 入車 れに な乗 い車 で普 き段 な使	の入 洋り 服、 な展 ど示 が商 汚品 れや るほ か設 の内 人に	損建 ・造 落物 書・ き文 が化 あ財 るな どの の破	感自 じ然 る環 境が 悪化 して いる と	
全体	(650)	57.5	15.2	27.7	49.2	52.2	41.2	42.6	14.5	16.0	23.7	
観光業務従事者	(552)	56.3	15.0	27.9	49.6	52.7	42.6	43.1	13.8	14.9	22.8	
業務エリア 混雑度別	混雑エリアあり	(263)	68.1	19.0	36.9	59.7	63.9	49.8	55.5	17.9	18.6	29.7
	やや混雑エリアあり	(248)	48.0	11.3	19.4	42.3	41.5	35.9	31.9	9.3	12.1	16.1
	混雑エリアなし	(41)	31.7	12.2	22.0	29.3	48.8	36.6	31.7	14.6	7.3	19.5
エリア別 ※業務エリア に混雑エリア がある人	北海道	(65)	43.1	6.2	9.2	27.7	46.2	40.0	35.4	4.6	6.2	15.4
	関東	(140)	56.4	14.3	27.9	60.0	57.1	42.1	44.3	15.0	15.7	22.1
	中部	(90)	62.2	11.1	25.6	55.6	48.9	42.2	42.2	10.0	15.6	25.6
	関西	(85)	72.9	23.5	42.4	57.6	56.5	52.9	52.9	23.5	22.4	27.1
	中国・四国	(48)	37.5	8.3	18.8	41.7	33.3	29.2	33.3	14.6	16.7	10.4
	九州・沖縄	(83)	66.3	24.1	38.6	49.4	63.9	45.8	49.4	12.0	14.5	31.3

n=30以上の場合

[比率の差]	全体との差
+	ポイント
+	ポイント
-	ポイント
-	ポイント

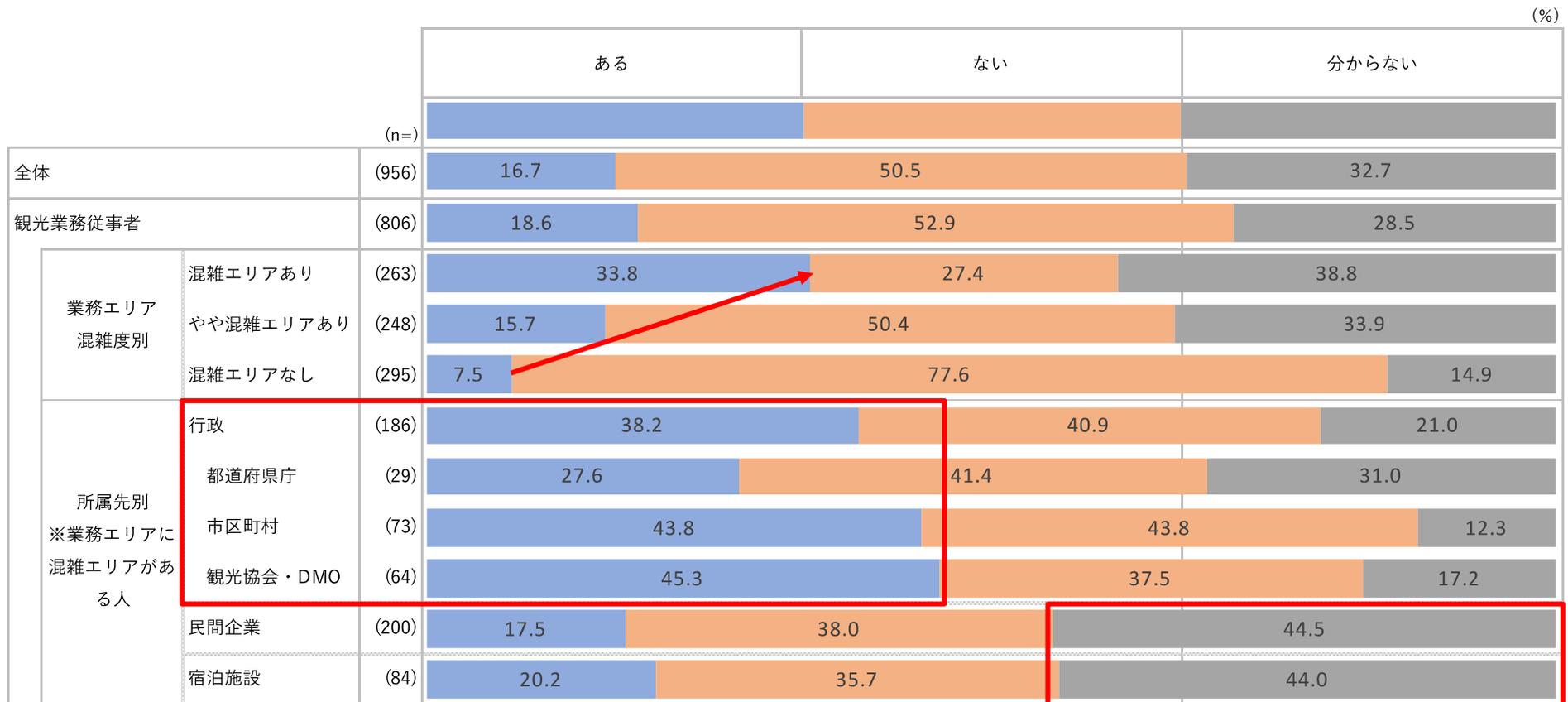
3. オーバーツーリズムへの取り組み

①オーバーツーリズムに対する取り組み

- ▶ オーバーツーリズムへの取り組み対策の有無について、「ある」17%、「ない」51%、「分からない」33%
- ▶ 混雑度別でみると、「混雑エリアあり」では、「ある」が34%、「ない」が27%
- ▶ 所属先別でみると、「行政」は対策が「ある」が4割弱
 - 特に「市区町村」「観光協会・DMO」で「ある」の回答率が高い
 - 「民間企業」「宿泊施設」は「ある」が2割前後。「分からない」が4割強

Q10 自地域で、オーバーツーリズムに対し、現在取り組んでいる対策はありますか。 (単一回答) 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



※n=30未満は参考値

※所属先別は「その他」を除く

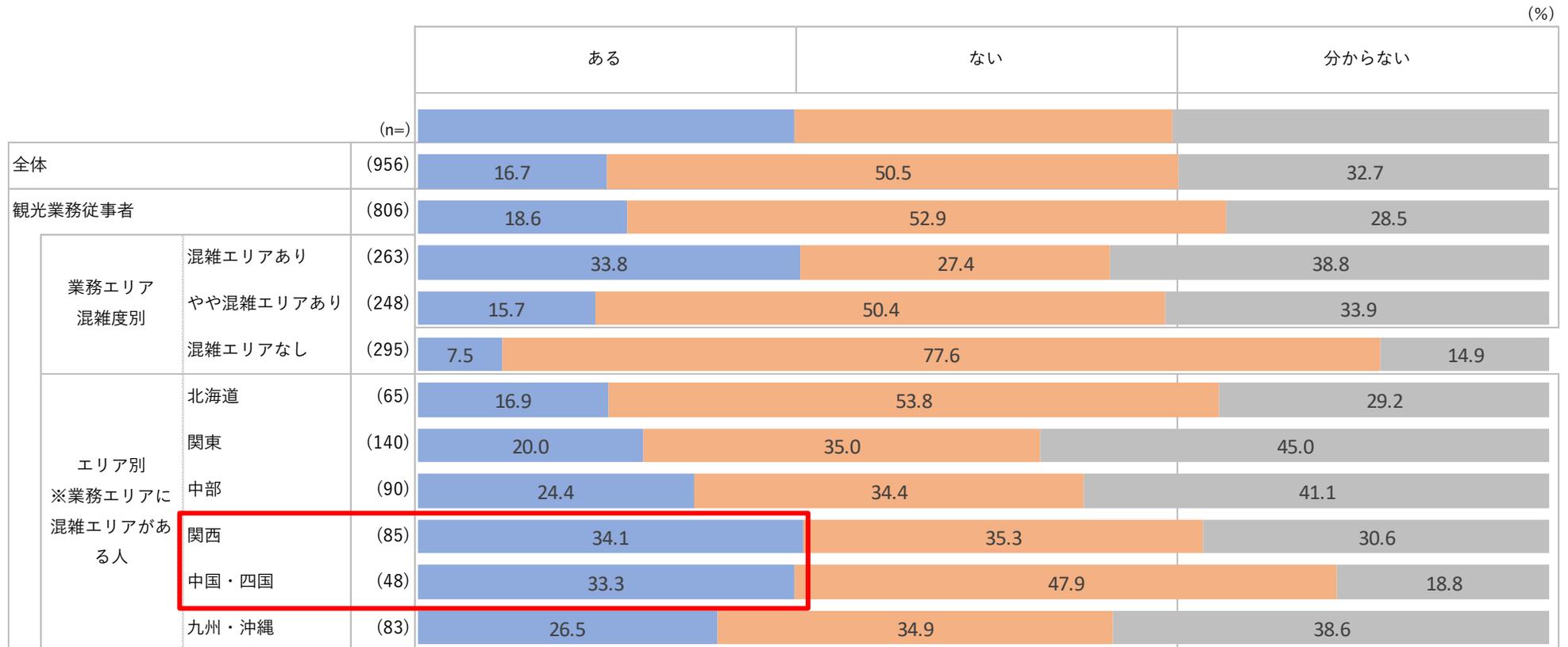
①オーバーツーリズムに対する取り組み：混雑エリア別

▶混雑エリア別でみると、「関西」「中国・四国」は対策が「ある」が3割強

- 「関東」は「分からない」が45%。 ※「関東」では、所属先が「民間企業」の人が多いため、必然的に「分からない」の割合が高まると推測される

Q10 自地域で、オーバーツーリズムに対し、現在取り組んでいる対策はありますか。 (単一回答) 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

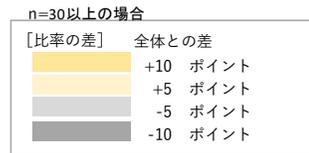
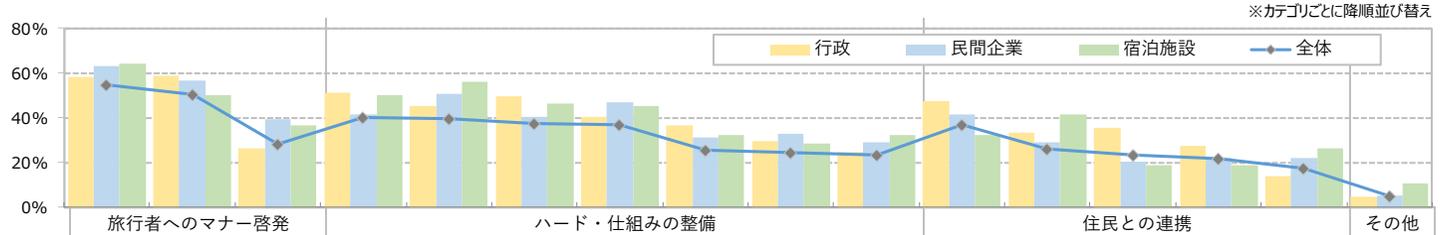


②オーバーツーリズム対策で必要なこと (MA：必要な対策)

- ▶ 必要だと思うオーバーツーリズム対策は、「インバウンドへのマナー啓発」55%、「旅行者へのマナー啓発」51%が上位
- ▶ オーバーツーリズム対策で必要なことは所属先ごとに異なる
 - 「行政」は「市区町村」「観光協会・DMO」を中心に“住民との連携”に関する項目のスコアが高い傾向
 - 「民間企業」「宿泊施設」では「インバウンドへのマナー啓発」「マナー違反行為の抑制」など、旅行者向けの対策を必要と感じる傾向

Q11 オーバーツーリズム対策として、今後、自地域で実施する必要があると思うことを（現在実施していることも含みます）すべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



	(n=)	旅行者へのマナー啓発		ハード・仕組みの整備							住民との連携					その他		特になし	
		インバウンドへのマナー啓発	旅行者へのマナー啓発	インバウンドへのマナー啓発	マナー違反行為の抑制	公共交通の輸送力増強	公共施設の整備	公共交通の混雑緩和	受入環境の充実	設備・無電柱化	スマートごみ箱の導入	宿泊・運賃の柔軟な設定	入域や交通の制限	入域や交通の管理	住民・事業者との話し合い	住民生活に関するデータ	住民が地域にもたらすメリット		その他
全体	(956)	54.8	50.5	28.2	40.2	39.4	37.2	36.8	25.8	24.3	23.6	37.1	25.9	23.6	21.7	17.7	5.2	8.5	
観光業務従事者	(806)	56.3	51.7	27.9	41.9	40.7	38.6	36.6	26.9	24.2	25.3	38.8	26.9	24.6	21.6	17.9	4.7	7.9	
業務エリア 混雑度別	混雑エリアあり	(263)	61.2	57.4	38.4	51.3	56.7	45.6	50.2	34.6	34.2	25.1	40.3	31.9	25.1	23.6	20.5	6.1	3.0
	やや混雑エリアあり	(248)	61.7	56.0	28.6	42.7	43.1	45.6	37.1	32.3	27.8	29.8	44.8	33.1	27.0	23.8	18.5	6.5	3.2
	混雑エリアなし	(295)	47.5	43.1	18.0	32.9	24.4	26.4	24.1	15.6	12.2	21.7	32.5	17.3	22.0	18.0	14.9	2.0	16.3
所属先別 ※業務エリアに 混雑エリアがあ る人	行政	(186)	58.6	59.1	26.3	51.1	45.2	49.5	40.3	36.6	29.6	24.7	47.3	33.3	35.5	27.4	14.0	4.8	3.2
	都道府県庁	(29)	58.6	51.7	31.0	58.6	51.7	34.5	37.9	37.9	24.1	17.2	62.1	48.3	34.5	27.6	10.3	3.4	-
	市区町村	(73)	63.0	61.6	24.7	46.6	39.7	53.4	35.6	31.5	27.4	24.7	49.3	32.9	37.0	26.0	11.0	2.7	4.1
	観光協会・DMO	(64)	50.0	57.8	23.4	53.1	48.4	54.7	37.5	45.3	32.8	29.7	42.2	29.7	35.9	31.3	18.8	7.8	3.1
民間企業	(200)	63.0	56.5	39.5	41.5	51.0	40.5	47.0	31.5	33.0	29.0	41.5	29.0	20.5	22.0	22.0	5.5	3.0	
宿泊施設	(84)	64.3	50.0	36.9	50.0	56.0	46.4	45.2	32.1	28.6	32.1	32.1	41.7	19.0	19.0	26.2	10.7	4.8	

※n=30未満は参考値 ※所属先別は「その他」を除く

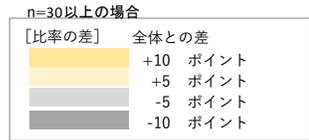
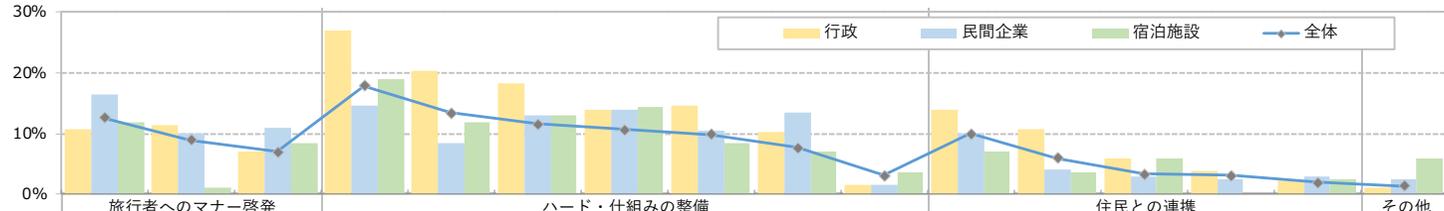
③オーバーツーリズム対策で実施が難しいこと

- ▶実施が難しいと思うオーバーツーリズム対策は、「公共交通の輸送力増強」18%、「受入環境の充実」13%が上位
- ▶混雑度別でみると、「混雑エリアあり」では「インバウンドへのマナー啓発」「公共交通の混雑緩和」も15%台と高い

Q13 先ほどご回答いただいたオーバーツーリズム対策のうち、実施が難しいと思うことをすべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：全員※】

※「Q11必要な対策」で「特になし」と回答者した人以外に聴取した設問を、全員ベースで集計している

※カテゴリごとに降順並び替え



	(n=)	実施が難しいと思うこと																										
		インバウンドへのマナー啓発	旅行者へのマナー啓発	カメラの設置など	マナー違反行為の抑制	公共交通の輸送力増強	乗合タクシー、ライドシェア	無電柱化、スマートごみ箱の導入	受入環境の充実	制、パークアイランド等	交通渋滞の解消	MaaSや配車アプリ導入	公共交通の混雑緩和	設定など	泊税、混雑運賃、二重価格	運賃・料金の柔軟な設定	入域や交通の管理・規制	くり	手ぶら観光の推進	観光が地域にもたらすメリットの受け取り	観光客の誘客	住民・事業者などの地域関係	住民の生活に関するデータの活用	飲食店の調査把握	雑居状況の把握	住民の生活に関するデータの活用	住民の生活に関するデータの活用	住民の生活に関するデータの活用
全体	(956)	12.6	8.9	7.0	17.9	13.4	11.6	10.7	9.8	7.7	3.1	9.9	6.0	3.3	3.1	2.0	1.4	21.2										
観光業務従事者	(806)	13.2	9.1	7.4	19.0	13.9	11.9	11.8	9.9	8.2	3.5	10.4	6.2	3.6	3.0	2.2	1.5	20.2										
業務エリア	(263)	15.2	9.9	8.7	17.9	11.4	14.8	15.6	11.8	11.8	1.1	11.0	9.1	4.6	1.9	3.0	2.7	18.6										
混雑度別	(248)	12.1	7.7	9.3	21.0	16.1	13.7	10.5	11.7	10.5	2.4	10.1	4.4	4.0	2.8	1.6	2.0	19.0										
	(295)	12.2	9.5	4.7	18.3	14.2	7.8	9.5	6.8	3.1	6.4	10.2	5.1	2.4	4.1	2.0	-	22.7										
所属先別	(186)	10.8	11.3	7.0	26.9	20.4	18.3	14.0	14.5	10.2	1.6	14.0	10.8	5.9	3.8	2.2	1.1	15.1										
都道府県庁	(29)	10.3	3.4	3.4	27.6	20.7	24.1	17.2	17.2	3.4	3.4	31.0	10.3	17.2	3.4	3.4	-	17.2										
※業務エリアに混雑エリアがある人	(73)	11.0	15.1	1.4	27.4	23.3	16.4	9.6	12.3	6.8	-	15.1	8.2	2.7	1.4	1.4	1.4	17.8										
観光協会・DMO	(64)	9.4	9.4	14.1	26.6	20.3	20.3	18.8	10.9	17.2	1.6	6.3	10.9	6.3	7.8	3.1	1.6	14.1										
民間企業	(200)	16.5	10.0	11.0	14.5	8.5	13.0	14.0	10.5	13.5	1.5	10.0	4.0	3.0	2.5	3.0	2.5	19.0										
宿泊施設	(84)	11.9	1.2	8.3	19.0	11.9	13.1	14.3	8.3	7.1	3.6	7.1	3.6	6.0	-	2.4	6.0	20.2										

※n=30未満は参考値

※所属先別は「その他」を除く

参考) オーバーツーリズム対策と実施障壁について

▶ Q11~13で示した必要な対策 (MA、SA)、実施が難しい対策のスコア比較をした表

- 「観光メリットの住民への説明」は、Q11 (必要な対策) では6位だが、Q12 (最も必要な対策) では2位にランクイン
- 実施障壁率 (Q11必要な対策のうち、Q13実施が難しい対策の割合) では、「交通渋滞の解消」「公共交通の輸送力増強」が4割以上

Q11 オーバーツーリズム対策として、今後、自地域で実施する必要があると思うことを (現在実施していることも含みます) すべてお選びください。 (複数回答) 【回答者条件: 全員】

Q12 先ほどご回答いただいたオーバーツーリズム対策のうち、最も必要だと思うことを1つお選びください。 (単一回答) 【回答者条件: 全員※】

Q13 先ほどご回答いただいたオーバーツーリズム対策のうち、実施が難しいと思うことをすべてお選びください。 (複数回答) 【回答者条件: 全員※】

※自地域: 日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

※「Q11必要な対策」で「特にない」と回答者した人以外に聴取した設問を、全員ベースで集計している

※カテゴリごとに「Q11 必要な対策」の降順並び替え (%)

		旅行者へのマナー啓発			ハード・仕組みの整備							住民との連携				その他		特にない	
		インバウンドへのマナー啓発 (多言語対応等)	旅行者へのマナー啓発 (情報発信)	どマナー違反行為の抑制 (防犯カメラの設置など)	公共、交通の輸送力増強 (連節バス、乗合タクシー)	公共の混雑緩和 (交通手段の整備、運賃補助)	公共の混雑緩和 (交通手段の整備、運賃補助)	公共交通の混雑緩和 (交通手段の整備、運賃補助)											
全体	Q11_必要な対策	(956)	54.8	50.5	28.2	40.2	39.4	37.2	36.8	25.8	24.3	23.6	37.1	25.9	23.6	21.7	17.7	5.2	8.5
	Q12_最も必要な対策	(956)	12.2	9.6	2.5	9.1	8.2	7.6	9.1	4.1	4.9	1.9	9.9	1.5	4.8	2.0	1.0	3.0	
	Q13_実施が難しい対策	(956)	12.6	8.9	7.0	17.9	10.7	13.4	9.8	11.6	7.7	3.1	9.9	3.3	6.0	3.1	2.0	1.4	21.2
実施障壁率 (=[Q13実施が難しい対策] ÷[Q11必要な対策])		(956)	22.9	17.6	24.8	44.5	27.1	36.0	26.7	44.9	31.9	13.3	26.8	12.9	25.2	14.5	11.2	26.0	

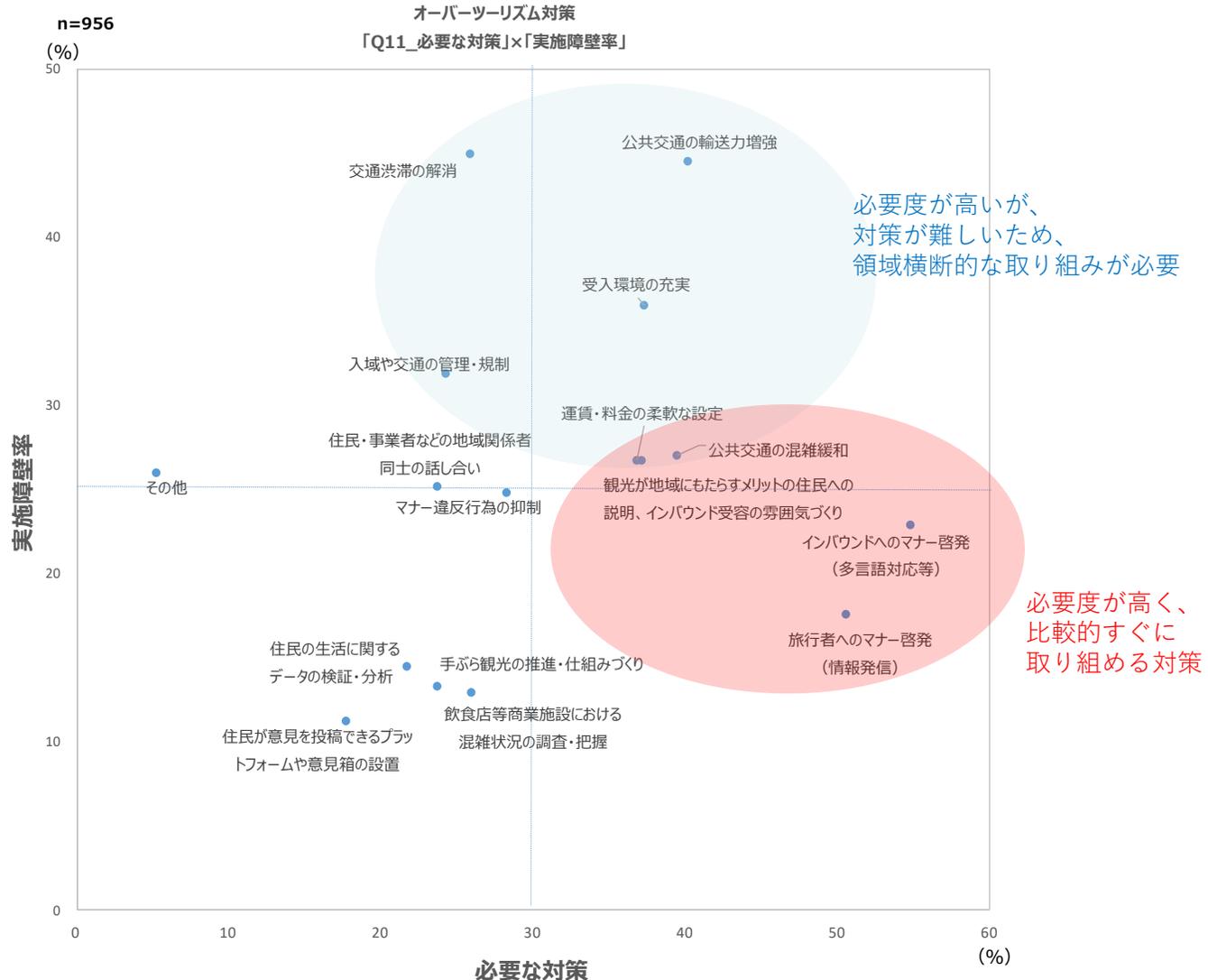
n=30以上の場合

【順位】 各設問項目において

- 50.0 1位
- 50.0 2~3位
- 50.0 4~5位

参考) オーバーツーリズム対策と実施障壁について

- ▶ 【横軸：必要な対策】 × 【縦軸：実施障壁率】として、各対策をプロットした散布図
 - 赤の部分：必要度が高く、実施障壁も低め⇒比較的すぐに取り組める対策
 - 青の部分：必要度が高いが、実施障壁も高い⇒対策が難しいため、領域横断的な取り組みが必要



参考) オーバーツーリズム対策と実施障壁について：混雑エリア別

- ▶ 【エリア別に、Q11（必要な対策）について、Q12（最も必要な対策）・Q13（実施が難しい対策）の選択率を比較した表
 - Q11必要な対策：多くのエリアで「インバウンドへのマナー啓発」が1位。「中国・四国」のみ「観光メリットの住民への説明」が1位
 - Q12最も必要な対策：「中部」は「公共交通の輸送力増強」、「関西」は「インバウンドへのマナー啓発」の高さが目立つ
 - Q13実施が難しい対策：多くのエリアで「公共交通の輸送力増強」が1位

Q11 オーバーツーリズム対策として、今後、自地域で実施する必要があると思うことを（現在実施していることも含みます）すべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：全員】

Q12 先ほどご回答いただいたオーバーツーリズム対策のうち、最も必要だと思うことを1つお選びください。（単一回答） 【回答者条件：全員※】

Q13 先ほどご回答いただいたオーバーツーリズム対策のうち、実施が難しいと思うことをすべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：全員※】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

※「Q11必要な対策」で「特にない」と回答者した人以外に聴取した設問を、全員ベースで集計している

※カテゴリごとに「Q11 必要な対策」の降順並び替え (%)

	n(=)	旅行者へのマナー啓発					ハード・仕組みの整備							住民との連携					その他	
		インバウンドへのマナー啓発	旅行者へのマナー啓発	多言語対応	防犯カメラの設置	マナー違反行為の抑制	公共交通の輸送力増強	バス、乗合タクシー、ライドシェア等	公共交通の混雑緩和（交通手段の整備、運賃支払いのキャッシュレス化、MaaSや配車アプリ導入など）	環境の充実（道路・歩道の整備、無電柱化、スマートごみ箱の導入など）	受入環境の充実（道路・歩道の整備、無電柱化、スマートごみ箱の導入など）	宿泊・観光の柔軟な対応（宿泊料金の柔軟な設定（宿代など））	タクシーの規制・料金等の見直し	入場予約制度の導入	入域や交通の管理・規制	観光地での滞在の誘導	観光地での滞在の誘導	観光地での滞在の誘導	観光地での滞在の誘導	観光地での滞在の誘導
Q11 必要な対策	全体	(956)	54.8	50.5	28.2	40.2	39.4	37.2	36.8	25.8	24.3	23.6	37.1	25.9	23.6	21.7	17.7	5.2	8.5	
	エリア別	北海道・東北	(65)	69.2	60.0	32.3	53.8	47.7	46.2	46.2	29.2	35.4	30.8	47.7	36.9	32.3	20.0	18.5	-	6.2
	※業務エリアに混雑エリアがある人	関東	(140)	53.6	50.0	30.7	45.0	48.6	40.7	42.1	37.9	29.3	24.3	33.6	35.7	20.7	25.0	23.6	12.9	5.0
		中部	(90)	67.8	61.1	35.6	48.9	47.8	41.1	45.6	33.3	24.4	23.3	36.7	32.2	26.7	22.2	11.1	4.4	2.2
		関西	(85)	61.2	60.0	37.6	41.2	52.9	50.6	37.6	31.8	32.9	35.3	40.0	29.4	27.1	18.8	25.9	7.1	1.2
		中国・四国	(48)	60.4	50.0	29.2	52.1	60.4	54.2	43.8	25.0	37.5	41.7	64.6	35.4	25.0	22.9	12.5	-	2.1
	九州・沖縄	(83)	62.7	61.4	36.1	47.0	48.2	48.2	49.4	36.1	32.5	18.1	49.4	25.3	28.9	31.3	20.5	4.8	1.2	
Q12 最も必要な対策	全体	(956)	12.2	9.6	2.5	9.1	8.2	7.6	9.1	4.1	4.9	1.9	9.9	1.5	4.8	2.0	1.0	3.0		
	エリア別	北海道・東北	(65)	12.3	9.2	-	4.6	3.1	16.9	7.7	4.6	10.8	1.5	15.4	1.5	6.2	-	-		
	※業務エリアに混雑エリアがある人	関東	(140)	11.4	5.7	3.6	9.3	11.4	7.9	10.7	6.4	5.0	1.4	9.3	1.4	2.1	2.1	1.4	5.7	
		中部	(90)	12.2	4.4	3.3	14.4	6.7	12.2	4.4	6.7	3.3	3.3	10.0	1.1	2.2	1.1	1.1		
		関西	(85)	14.1	11.8	3.5	7.1	9.4	9.4	10.6	5.9	4.7	3.5	8.2	1.2	3.5	1.2	-	4.7	
		中国・四国	(48)	14.6	6.3	6.3	10.4	14.6	10.4	4.2	-	4.2	4.2	12.5	2.1	6.3	-	2.1	-	
	九州・沖縄	(83)	8.4	13.3	6.0	9.6	9.6	4.8	7.2	8.4	4.8	-	14.5	2.4	7.2	1.2	1.2	-		
Q13 実施が難しい対策	全体	(956)	12.6	8.9	7.0	17.9	10.7	13.4	9.8	11.6	7.7	3.1	9.9	3.3	6.0	3.1	2.0	1.4	21.2	
	エリア別	北海道・東北	(65)	7.7	7.7	7.7	26.2	9.2	13.8	12.3	18.5	13.8	1.5	12.3	6.2	7.7	-	-	16.9	
	※業務エリアに混雑エリアがある人	関東	(140)	12.1	6.4	6.4	14.3	10.7	9.3	6.4	12.9	8.6	7.9	4.3	4.3	2.9	2.9	4.3	24.3	
		中部	(90)	20.0	11.1	10.0	17.8	15.6	14.4	10.0	12.2	11.1	-	11.1	2.2	8.9	2.2	3.3	17.8	
		関西	(85)	17.6	3.5	15.3	15.3	10.6	16.5	12.9	11.8	9.4	4.7	7.1	3.5	9.4	2.4	2.4	11.8	
		中国・四国	(48)	14.6	10.4	8.3	35.4	25.0	14.6	18.8	18.8	16.7	2.1	16.7	6.3	2.1	6.3	-	14.6	
	九州・沖縄	(83)	9.6	15.7	7.2	19.3	13.3	16.9	16.9	15.7	12.0	1.2	13.3	4.8	8.4	3.6	1.2	21.7		

n=30以上の場合

【順位】 全体・各エリアにおいて

50.0 1位

50.0 2～3位

50.0 4～5位

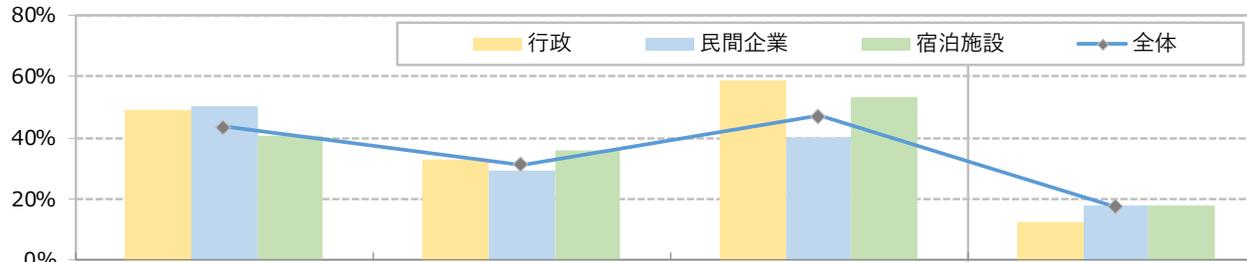
4. 分散対策と地方誘客

①自地域の混雑状況の偏り【時間的な偏り】

- ▶ 混雑エリアの混雑状況に「時間的な偏りがある・計」は8割強
 - 観光業務従事者ベースでみると、「時間的な偏りがある・計」は84%、「シーズンによる繁閑差が大きい」50%が最多
- ▶ 混雑度別でみると、「混雑エリアあり」で特に「混雑が集中する時間帯がある」が6割弱
- ▶ 所属先別では、「行政」で「シーズンによる繁閑差が大きい」が6割弱
 - 特に「市区町村」では約7割が「シーズンによる繁閑差が大きい」と回答

Q15 自地域内の旅行者による混雑状況について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：自地域内に混雑エリアがある人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



n=30以上の場合

【比率の差】全体との差

- +10 ポイント
- +5 ポイント
- 5 ポイント
- 10 ポイント

		時間的な偏りがある・計				時間的な偏りがある	
		混雑が集中する時間帯がある	平日・休日の繁閑差が大きい	シーズンによる繁閑差が大きい	あてはまるものはない		
		(n=)					
全体（自地域内に混雑エリアがある人）		(650)	43.5	31.4	47.2	17.4	82.6
観光業務従事者		(552)	45.7	31.9	49.5	15.8	84.2
業務エリア混雑度別	混雑エリアあり	(263)	57.8	29.7	45.2	15.2	84.8
	やや混雑エリアあり	(248)	35.5	33.1	54.8	16.9	83.1
	混雑エリアなし	(41)	29.3	39.0	43.9	12.2	87.8
所属先別	行政	(186)	48.9	32.8	58.6	12.4	87.6
	都道府県庁	(29)	44.8	34.5	44.8	20.7	79.3
	市区町村	(73)	47.9	38.4	68.5	9.6	90.4
※業務エリアに混雑エリアがある人	観光協会・DMO	(64)	46.9	31.3	59.4	14.1	85.9
	民間企業	(200)	50.5	29.0	40.0	18.0	82.0
	宿泊施設	(84)	40.5	35.7	53.6	17.9	82.1

※n=30未満は参考値

※所属先別は「その他」を除く

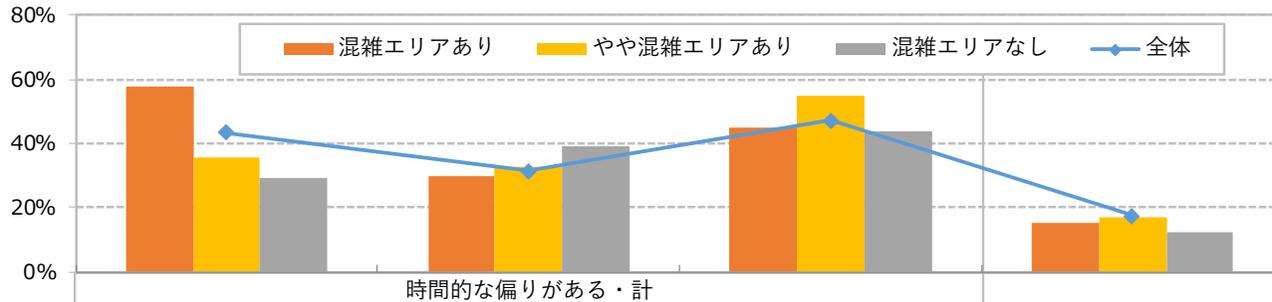
①自地域の混雑状況の偏り【時間的な偏り】：混雑エリア別

▶混雑エリア別でみると、混雑パターンの違いが確認できる

- 「九州・沖縄」では「混雑が集中する時間帯がある」が高い
- 「北海道・東北」「中部」「中国・四国」では「シーズンによる繁閑差が大きい」が高い

Q15 自地域内の旅行者による混雑状況について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：自地域内に混雑エリアがある人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



n=30以上の場合

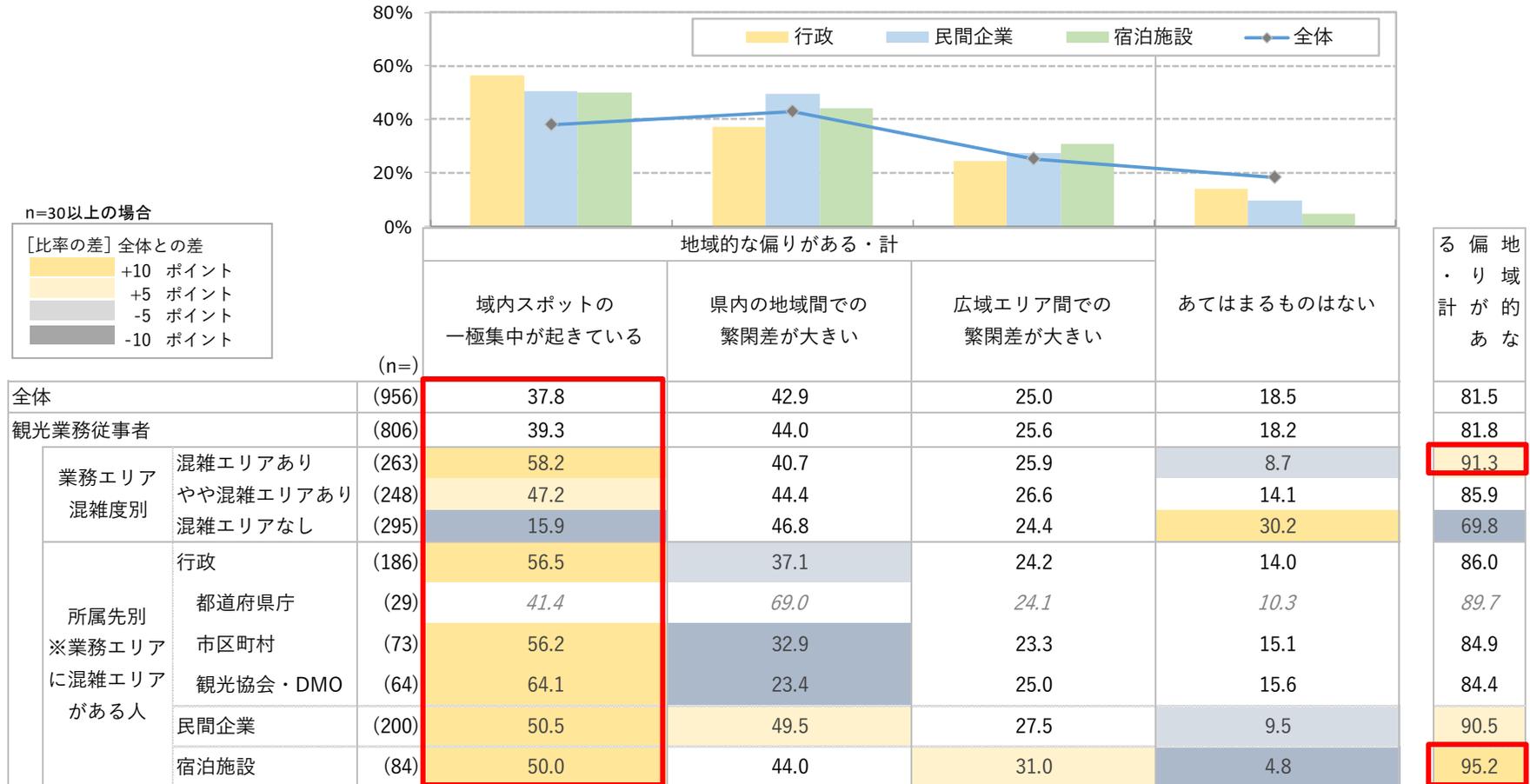
比率の差	全体との差
+	ポイント
+10	ポイント
+5	ポイント
-5	ポイント
-10	ポイント

混雑度別	エリア別	(n=)	時間的な偏りがある・計				時間的な偏りがない
			混雑が集中する時間帯がある	平日・休日の繁閑差が大きい	シーズンによる繁閑差が大きい	あてはまるものはない	
全体（自地域内に混雑エリアがある人）		(650)	43.5	31.4	47.2	17.4	82.6
観光業務従事者		(552)	45.7	31.9	49.5	15.8	84.2
業務エリア混雑度別	混雑エリアあり	(263)	57.8	29.7	45.2	15.2	84.8
	やや混雑エリアあり	(248)	35.5	33.1	54.8	16.9	83.1
	混雑エリアなし	(41)	29.3	39.0	43.9	12.2	87.8
※業務エリアに混雑エリアがある人	北海道・東北	(65)	27.7	32.3	78.5	6.2	93.8
	関東	(140)	48.6	32.1	32.9	22.9	77.1
	中部	(90)	41.1	32.2	63.3	13.3	86.7
	関西	(85)	49.4	27.1	36.5	17.6	82.4
	中国・四国	(48)	52.1	45.8	70.8	14.6	85.4
	九州・沖縄	(83)	60.2	24.1	43.4	14.5	85.5

②自地域・周辺地域の混雑状況の偏り【地域的な偏り】

- ▶ 混雑エリアの混雑状況に「地域的な偏りがある・計」は8割強
 - ▶ 混雑度別でみると、「混雑エリアあり」で特に「地域的な偏りがある・計」は9割を超える
 - 特に「域内スポットの一極集中が起きている」は約6割
 - ▶ 所属先別では、「宿泊施設」で「地域的な偏りがある・計」が95%
 - 「域内スポットの一極集中が起きている」はどの属性においても5割以上。特に「観光協会・DMO」では6割を超える
- Q16 自地域内、もしくは周辺地域の旅行者による混雑状況について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



※n=30未満は参考値

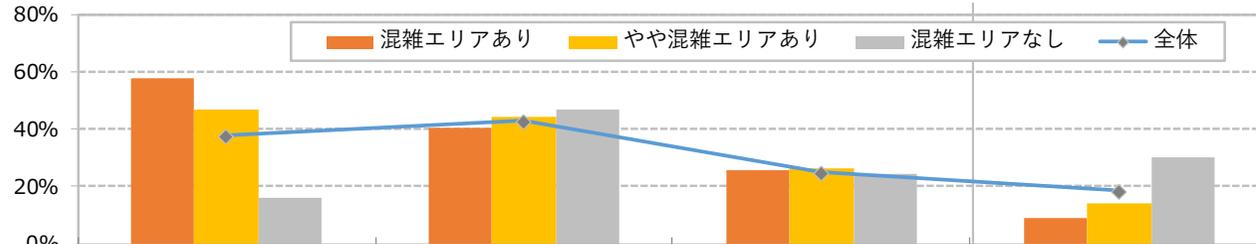
※所属先別は「その他」を除く

②自地域・周辺地域の混雑状況の偏り【地域的な偏り】：混雑エリア別

▶混雑エリア別でみると、「中国・四国」「関西」で「域内スポットの一極集中が起きている」が高い

Q16 自地域内、もしくは周辺地域の旅行者による混雑状況について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答） 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



n=30以上の場合

比率の差	全体との差
+	ポイント
+10	ポイント
+5	ポイント
-5	ポイント
-10	ポイント

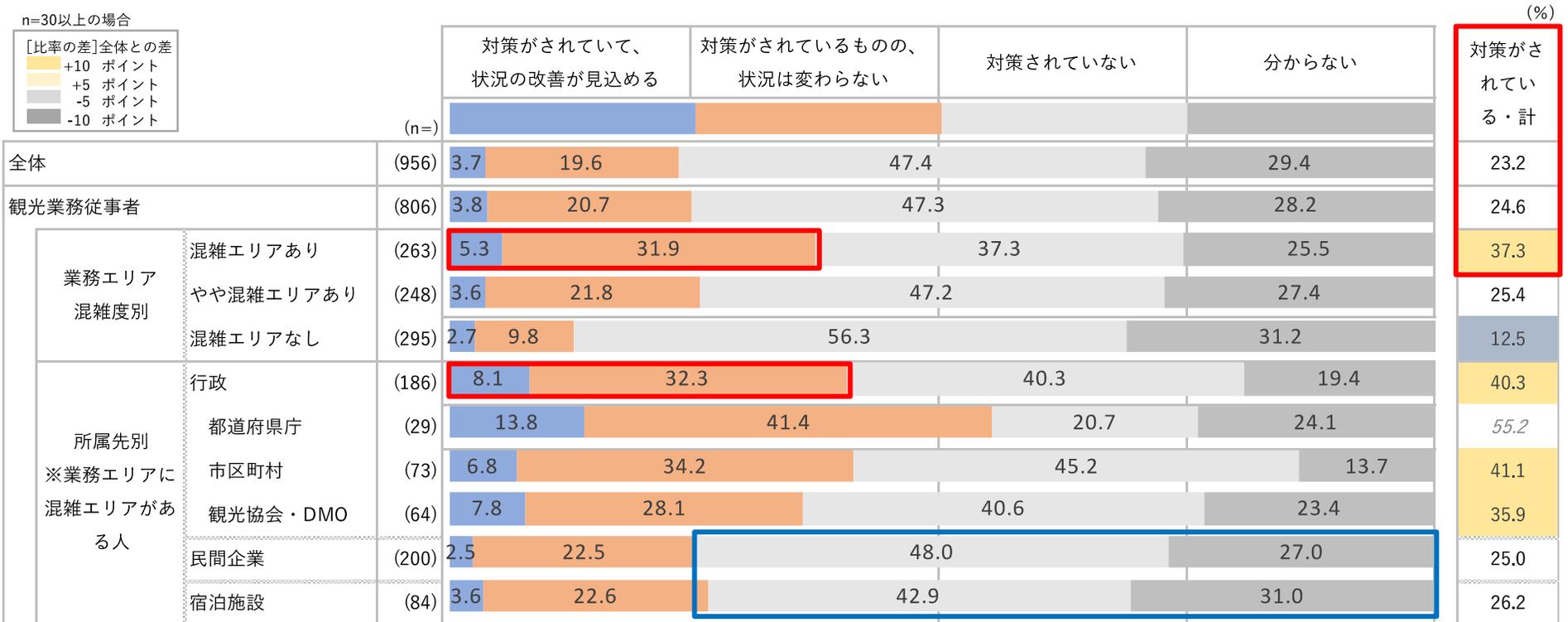
	(n=)	地域的な偏りがある・計				偏り地域計
		域内スポットの一極集中が起きている	県内の地域間での繁閑差が大きい	広域エリア間での繁閑差が大きい	あてはまるものはない	
全体	(956)	37.8	42.9	25.0	18.5	81.5
観光業務従事者	(806)	39.3	44.0	25.6	18.2	81.8
業務エリア混雑度別	混雑エリアあり (263)	58.2	40.7	25.9	8.7	91.3
	やや混雑エリアあり (248)	47.2	44.4	26.6	14.1	85.9
	混雑エリアなし (295)	15.9	46.8	24.4	30.2	69.8
エリア別 ※業務エリアに混雑エリアがある人	北海道・東北 (65)	40.0	49.2	33.8	15.4	84.6
	関東 (140)	54.3	30.7	25.7	13.6	86.4
	中部 (90)	48.9	50.0	27.8	11.1	88.9
	関西 (85)	61.2	38.8	29.4	8.2	91.8
	中国・四国 (48)	64.6	47.9	20.8	12.5	87.5
九州・沖縄 (83)	49.4	49.4	19.3	7.2	92.8	

③分散・誘客対策の実施状況

- ▶ 分散・誘客の「対策がされている・計」は2割強、「対策されていない」は5割弱。「分からない」が3割弱
 - 「対策がされている・計」23%のうち、「状況の改善が見込める」のは4%にとどまる
- ▶ 混雑度別でみると、「混雑エリアあり」は「対策がされている・計」が4割弱
 - 「状況の改善が見込める」は5%
- ▶ 所属先別では、「行政」で「対策がされている・計」が約4割
 - 一方、「民間企業」「宿泊施設」では「対策されていない」「分からない」の回答割合が高め

Q17 自地域や周辺地域において、「旅行客の分散」「非混雑地域への誘客」のための対策が講じられていますか。（単一回答） 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



※n=30未満は参考値

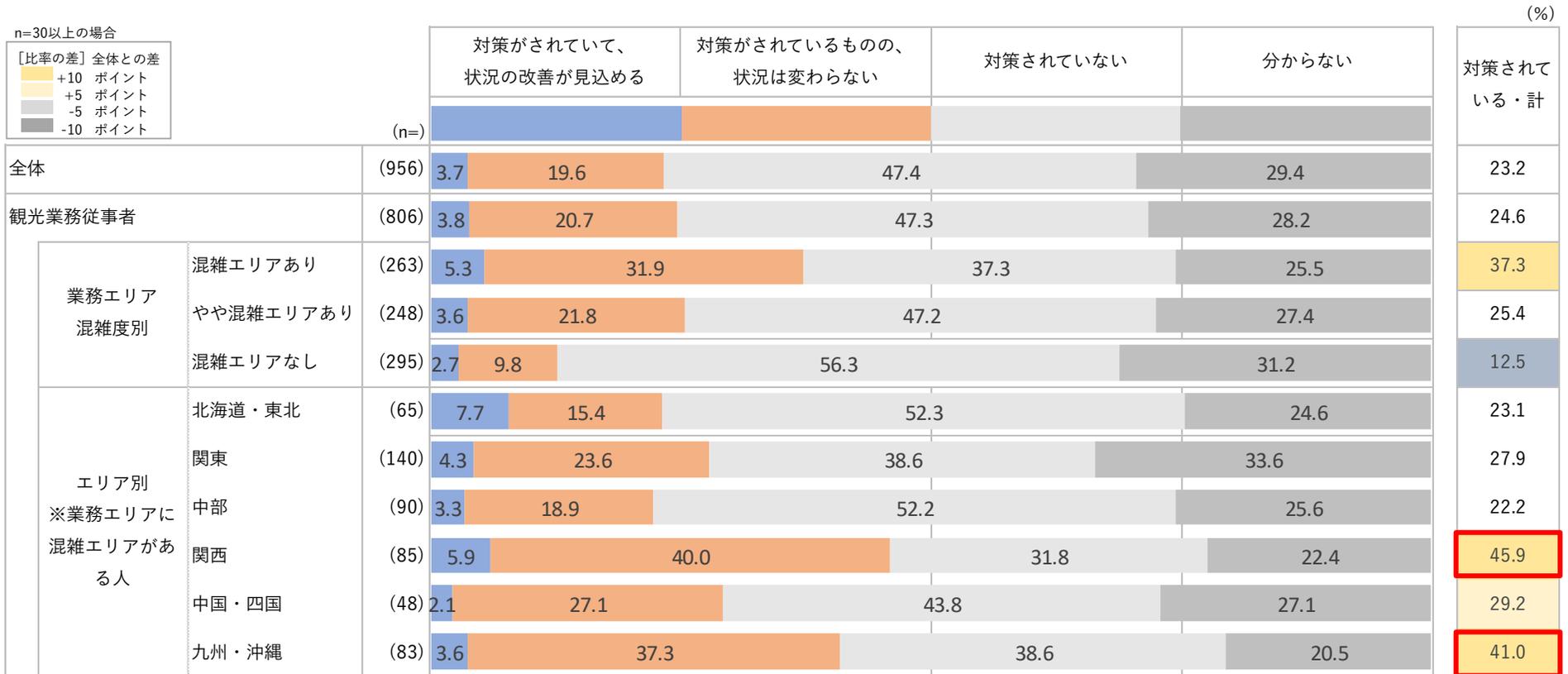
※所属先別は「その他」を除く

③分散・誘客対策の実施状況：混雑エリア別

- ▶混雑エリア別でみると「関西」「九州・沖縄」で「対策がされている・計」が高い
- －一方、「北海道・東北」「中部」で「対策がされている・計」は2割強

Q17 自地域や周辺地域において、「旅行客の分散」「非混雑地域への誘客」のための対策が講じられていますか。 (単一回答) 【回答者条件：全員】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア



④分散・誘客対策の実施内容

- ▶ 「モデルルート・コースの提示」「旅行客向けの魅力的なコンテンツ造成」「多言語の情報ツールの整備」が4割以上
 - 一方、「住民向け説明会などの実施」は3%、「混雑、非混雑地域間の連携」は11%
- ▶ 混雑度別にみると、「混雑エリアあり」で対策が進められている様子がうかがえる
 - 「混雑エリアあり」は「事前予約・ネット予約の導入」「混雑情報や空き情報の可視化・情報配信」「宿泊施設の充実」「電子マネーなどキャッシュレス決済への対応強化」のスコアが高い

Q18 自地域や周辺地域で行われている「旅行客の分散」「非混雑地域への誘客」対策について、あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答） 【回答者条件：分散・誘客対策がされていると回答した人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

※各カテゴリ内で降順並び替え



		分散_旅行客の誘導					受入環境の整備			デジタル環境整備			他事業者・住民との連携		組織		その他			
		示 モ （ 分 散 ル 目 的 的 ）	ス ポ リ ア 内 の 空 旅 行 客 の 誘 導	入 事 前 予 約 ・ ネ ッ ト 予 約 の 導 入	化 混 雑 情 報 配 信 可 視 化	ン 夜 ト や 開 催 、 季 節 限 定 の イ ベ ン ト	混 雑 、 非 混 雑 地 域 間 の 連 携	テ 旅 行 客 向 け の 魅 力 的 な コ ン テ ン ツ 造 成	ト 板 多 言 語 の 情 報 ツ ー ル の 整 備 （ 看 望 タ ー ゲ ッ ト ）	宿 泊 施 設 の 充 実	の 交 通 シ ム ン レ フ ス ラ の 整 備 、 移 動	レ 電 子 決 済 ヘ の 対 応 強 化	タ 親 の 光 D X の 推 進 （ 収 集 デ ー タ ）	無 線 L A N 環 境 の 整 備	外 海 メ デ ィ ア と の 連 携	ン 親 ド 光 研 究 修 会 の 開 催 の イ ン パ ウ ア	住 民 向 け の 説 明 会 な ど の 実 施	応 人 材 採 用 成 績 の 対	そ の 他	
全体	(222)	46.4	30.6	30.6	25.7	24.3	10.8	45.0	42.3	26.6	26.6	33.3	32.9	23.0	19.8	17.1	3.2	23.9	0.9	
観光業務従事者	(198)	47.5	30.8	30.8	26.8	24.7	11.1	47.0	42.9	27.3	28.8	33.8	33.3	24.2	19.7	17.7	3.5	23.2	0.5	
業務エリア	混雑エリアあり	(98)	49.0	33.7	35.7	34.7	26.5	12.2	50.0	46.9	35.7	30.6	38.8	34.7	25.5	19.4	17.3	3.1	24.5	1.0
	やや混雑エリアあり	(63)	47.6	33.3	28.6	23.8	27.0	12.7	50.8	38.1	22.2	34.9	31.7	38.1	22.2	22.2	15.9	4.8	23.8	-
	混雑エリアなし	(37)	43.2	18.9	21.6	10.8	16.2	5.4	32.4	40.5	13.5	13.5	24.3	21.6	24.3	16.2	21.6	2.7	18.9	-
所属先別	行政	(75)	54.7	40.0	25.3	36.0	28.0	12.0	60.0	40.0	28.0	26.7	30.7	48.0	28.0	24.0	22.7	5.3	24.0	1.3
	都道府県庁	(16)	50.0	56.3	12.5	25.0	25.0	12.5	62.5	25.0	25.0	50.0	18.8	43.8	18.8	43.8	25.0	12.5	31.3	-
	市区町村	(30)	56.7	40.0	16.7	36.7	33.3	10.0	50.0	40.0	23.3	13.3	30.0	50.0	23.3	16.7	23.3	3.3	23.3	3.3
	観光協会・DMO	(23)	60.9	30.4	43.5	47.8	21.7	17.4	69.6	47.8	26.1	26.1	39.1	52.2	34.8	21.7	17.4	4.3	17.4	-
※業務エリアに混雑エリアがある人	民間企業	(50)	40.0	32.0	38.0	26.0	30.0	12.0	40.0	44.0	28.0	44.0	40.0	26.0	22.0	12.0	8.0	2.0	30.0	-
	宿泊施設	(22)	31.8	18.2	40.9	27.3	13.6	9.1	40.9	40.9	45.5	27.3	40.9	31.8	22.7	22.7	13.6	-	9.1	-

※n=30未満は参考値

※所属先別は「その他」を除く

④分散・誘客対策の実施内容：混雑エリア別

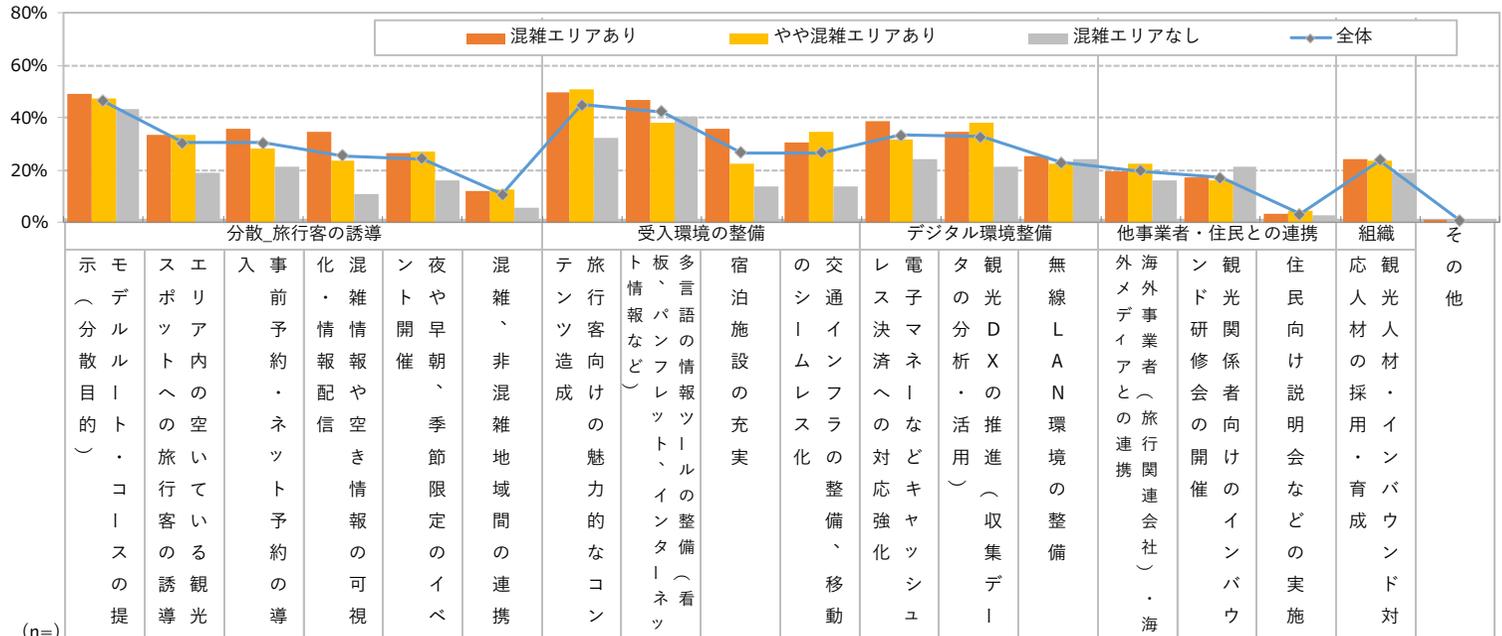
▶混雑エリア別でみると、「関東」「関西」でスコアが高い項目が多い

- 「関東」では「旅行者向けの魅力的なコンテンツ造成」62%が高い
- 「関西」では「旅行者向けの魅力的なコンテンツ造成」「観光DXの推進」が5割弱
- 「九州・沖縄」では「モデルルート・コースの提示」50%、「多言語の情報ツールの整備」が44%が高い

Q18 自地域や周辺地域で行われている「旅行者の分散」「非混雑地域への誘客」対策について、あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答） 【回答者条件：分散・誘客対策がされていると回答した人】

※自地域：日常生活を送るエリア、業務・事業に関わるエリア

※各カテゴリ内で降順並び替え



n=30以上の場合

[比率の差] 全体との差

- +10 ポイント
- +5 ポイント
- 5 ポイント
- 10 ポイント

		(n=)	示散目・的・コリスの提	モルトの空いてる誘導	エポリアへの旅行客の誘導	事前予約・ネット予約の誘導	混雑情報配信	混雑情報配信	夜間・早朝・季節限定のイベ	混雑・非混雑地域の連携	旅行者向け魅力的なコンテンツ	多言語の情報ツールの整備（看板、パンフレット、インターネット）	宿泊施設の充実	交通インフラの整備、移動	電子決済への対応強化	観光DXの活用（収集データ）	無線LAN環境の整備	海外事業者（旅行関連会社）との連携	観光関係者の連携	住民向け説明会などの実施	観光材の採用・育成	その他
全体		(222)	46.4	30.6	30.6	25.7	24.3	10.8	45.0	42.3	26.6	26.6	33.3	32.9	23.0	19.8	17.1	3.2	23.9	0.9		
観光業務従事者		(198)	47.5	30.8	30.8	26.8	24.7	11.1	47.0	42.9	27.3	28.8	33.8	33.3	24.2	19.7	17.7	3.5	23.2	0.5		
業務エリア混雑度別	混雑エリアあり	(98)	49.0	33.7	35.7	34.7	26.5	12.2	50.0	46.9	35.7	30.6	38.8	34.7	25.5	19.4	17.3	3.1	24.5	1.0		
	やや混雑エリアあり	(63)	47.6	33.3	28.6	23.8	27.0	12.7	50.8	38.1	22.2	34.9	31.7	38.1	22.2	22.2	15.9	4.8	23.8	-		
	混雑エリアなし	(37)	43.2	18.9	21.6	10.8	16.2	5.4	32.4	40.5	13.5	13.5	24.3	21.6	24.3	16.2	21.6	2.7	18.9	-		
エリア別 ※業務エリアに混雑エリアがある人	北海道・東北	(15)	40.0	13.3	26.7	33.3	40.0	13.3	60.0	26.7	20.0	13.3	20.0	26.7	6.7	6.7	26.7	-	6.7	-		
	関東	(39)	48.7	17.9	30.8	33.3	15.4	12.8	61.5	48.7	30.8	30.8	48.7	41.0	23.1	25.6	10.3	2.6	30.8	-		
	中部	(20)	45.0	35.0	45.0	45.0	35.0	10.0	40.0	45.0	20.0	30.0	40.0	30.0	15.0	25.0	10.0	-	15.0	-		
	関西	(39)	46.2	43.6	38.5	30.8	30.8	15.4	48.7	38.5	35.9	35.9	38.5	48.7	30.8	23.1	17.9	5.1	28.2	2.6		
	中国・四国	(14)	64.3	64.3	42.9	35.7	35.7	14.3	64.3	57.1	42.9	50.0	28.6	21.4	50.0	-	21.4	7.1	35.7	-		
九州・沖縄	(34)	50.0	35.3	20.6	14.7	20.6	8.8	35.3	44.1	29.4	32.4	26.5	29.4	20.6	23.5	20.6	5.9	20.6	-			

※n=30未満は参考値

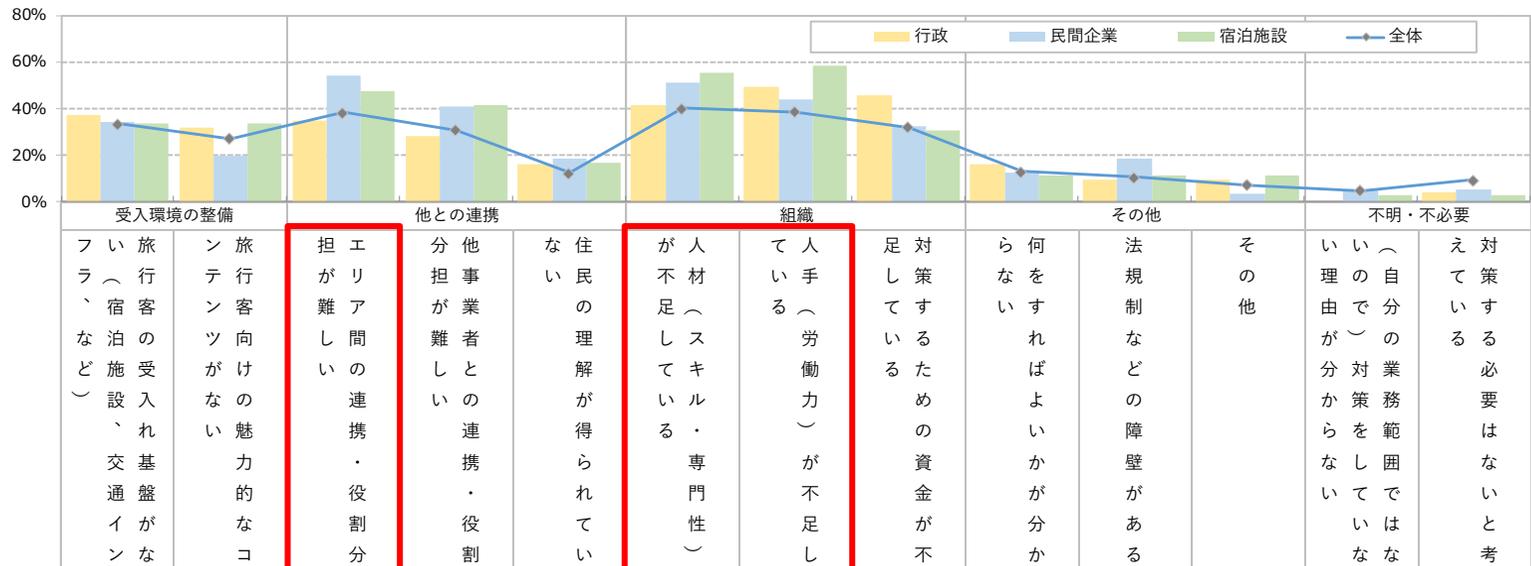


⑤分散・誘客対策がされない理由

- ▶ 「人材（スキル・専門性）が不足している」「人手（労働力）が不足している」「エリア間の連携・役割分担が難しい」が4割程度で高い
- ▶ 混雑度別でみると、「混雑エリアあり」は「人材（スキル・専門性）が不足している」「人手（労働力）が不足している」が5割以上
- ▶ 対策されない理由は所属先ごとに異なる
 - 「市区町村」は「対策するための資金が不足している」など【組織】に関する課題が上位にあがる
 - 「民間企業」は「エリア間の連携・役割分担が難しい」が最多
 - 「宿泊施設」は「人材（スキル・専門性）が不足している」「人手（労働力）が不足している」が5割以上

Q19 「旅行者の分散」「非混雑地域への誘客」対策をしていない（されていない）理由について、あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答） 【回答者条件：分散・誘客対策がされていないと回答した人】

※各カテゴリ内で降順並び替え



n=30以上の場合
【比率の差】 全体との差
+10 ポイント
+5 ポイント
-5 ポイント
-10 ポイント

		(n=)	受入環境の整備	他との連携	組織	その他	不明・不必要	
全体	(453)	33.3	26.9	38.2	30.7	12.1	4.6	
観光業務従事者	(381)	31.8	27.0	39.9	31.5	12.3	3.4	
混雑度別	業務エリア 混雑エリアあり	(98)	33.7	25.5	50.0	43.9	18.4	3.1
	やや混雑エリアあり	(117)	36.8	27.4	41.9	30.8	16.2	2.6
	混雑エリアなし	(166)	27.1	27.7	32.5	24.7	6.0	4.2
所属先別	行政	(75)	37.3	32.0	34.7	28.0	16.0	-
	都道府県庁	(6)	50.0	50.0	33.3	33.3	33.3	-
	市区町村	(33)	33.3	36.4	27.3	21.2	9.1	-
	観光協会・DMO	(26)	38.5	30.8	38.5	23.1	15.4	-
混雑エリアがある人	民間企業	(96)	34.4	19.8	54.2	40.6	18.8	5.2
	宿泊施設	(36)	33.3	33.3	47.2	41.7	16.7	2.8

※n=30未満は参考値 ※所属先別は「その他」を除く

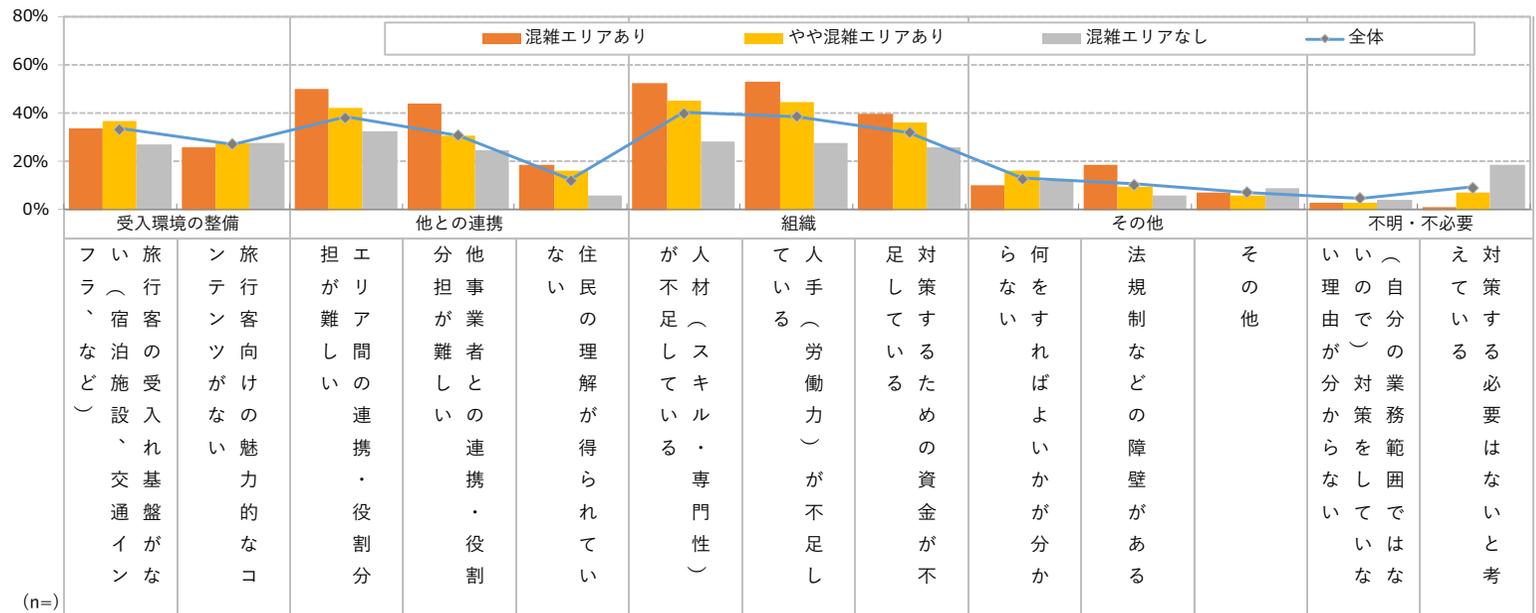
⑤分散・誘客対策がされない理由：混雑エリア別

▶混雑エリア別でみると、エリアによって対策されない理由が異なる

- 「北海道・東北」「関東」では「人手（労働力）が不足している」「エリア間の連携・役割分担が難しい」が5割前後と高い
- 「中部」では「他事業者との連携・役割分担が難しい」が5割弱
- 一方、「九州・沖縄」では「何をすればよいか分からない」28%が高く、まだ対応策が明確になっていない様子

Q19 「旅行客の分散」「非混雑地域への誘客」対策をしていない（されていない）理由について、あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答） 【回答者条件：分散・誘客対策がされていないと回答した人】

※各カテゴリ内で降順並び替え



n=30以上の場合
[比率の差] 全体との差
+10 ポイント
+5 ポイント
-5 ポイント
-10 ポイント

		(n=)	受入環境の整備	他との連携	組織	その他	不明・不必要								
			施設・設備・交通手段	観光客の受け入れ能力	観光客の受け入れ能力	観光客の受け入れ能力	観光客の受け入れ能力								
全体		(453)	33.3	26.9	38.2	30.7	12.1	40.0	38.4	31.8	13.0	10.6	7.3	4.6	9.3
観光業務従事者		(381)	31.8	27.0	39.9	31.5	12.3	39.6	39.4	32.5	12.9	10.2	7.6	3.4	10.5
業務エリア 混雑度別	混雑エリアあり	(98)	33.7	25.5	50.0	43.9	18.4	52.0	53.1	39.8	10.2	18.4	7.1	3.1	1.0
	やや混雑エリアあり	(117)	36.8	27.4	41.9	30.8	16.2	45.3	44.4	35.9	16.2	9.4	6.0	2.6	6.8
	混雑エリアなし	(166)	27.1	27.7	32.5	24.7	6.0	28.3	27.7	25.9	12.0	6.0	9.0	4.2	18.7
エリア別 ※業務エリアに 混雑エリアがあ る人	北海道・東北	(34)	41.2	32.4	47.1	23.5	11.8	64.7	52.9	52.9	11.8	2.9	11.8	-	-
	関東	(54)	29.6	18.5	48.1	37.0	22.2	44.4	48.1	29.6	9.3	11.1	5.6	5.6	3.7
	中部	(47)	34.0	38.3	46.8	48.9	12.8	42.6	40.4	31.9	8.5	21.3	6.4	4.3	6.4
	関西	(27)	40.7	18.5	51.9	40.7	40.7	44.4	66.7	44.4	14.8	14.8	-	-	3.7
	中国・四国	(21)	38.1	28.6	42.9	33.3	9.5	47.6	47.6	38.1	14.3	14.3	4.8	4.8	9.5
九州・沖縄	(32)	34.4	21.9	34.4	31.3	6.3	50.0	40.6	37.5	28.1	15.6	9.4	-	3.1	

※n=30未満は参考値

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

本資料は、株式会社リクルート『じゃらんリサーチセンター』の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。

本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当社までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

メディア・報道機関の皆さま：株式会社リクルート広報担当

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

企業・自治体・一般の皆さま：『じゃらんリサーチセンター』事務局

E-mail jalan_rc@r.recruit.co.jp